



特220
537

觀編新縣起

2599

新編

社觀編新縣起

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 15 20 1 2 3 4 5

始



特22

觀總聞新縣起

537

2599

納本

所行費

社觀總聞新縣起



華文大阪毎日
 英文大阪毎日
 點字大阪毎日
 エコノミスト
 サンデー毎日
 ホームライフ
 大毎寫眞画報
 支那事變画報
 大日本青年
 大阪毎日縮刷版

聞新生學小每木
聞新日每阪大

特 220
537



愛知
縣新聞總觀

昭和十四年



アサヒビール

疲れを癒し
元氣を造る

アサヒの一杯!

大日本麥酒株式會社名古屋支店



緒言

わが國現下の時局は言論機關の權威を最大限に發揮せねばならぬにも拘らず、却つて一部叫ばれる言論統制の聲に怯えて新聞界に多くの混迷と焦躁とが脚下に渦巻いてゐることは蔽ふべくもない。現に、我愛知縣下に於て發行されてゐる大小七百有餘種に近い新聞、雜誌の中で、事變下僅か一年間に二百種の多きが滅落し去つて、時こそ今、言論殉國の大道に一途邁進するの氣魄を持つものが、我操觚界に尠きを思ふとき國家のためにも寔に慨歎に堪えぬ。

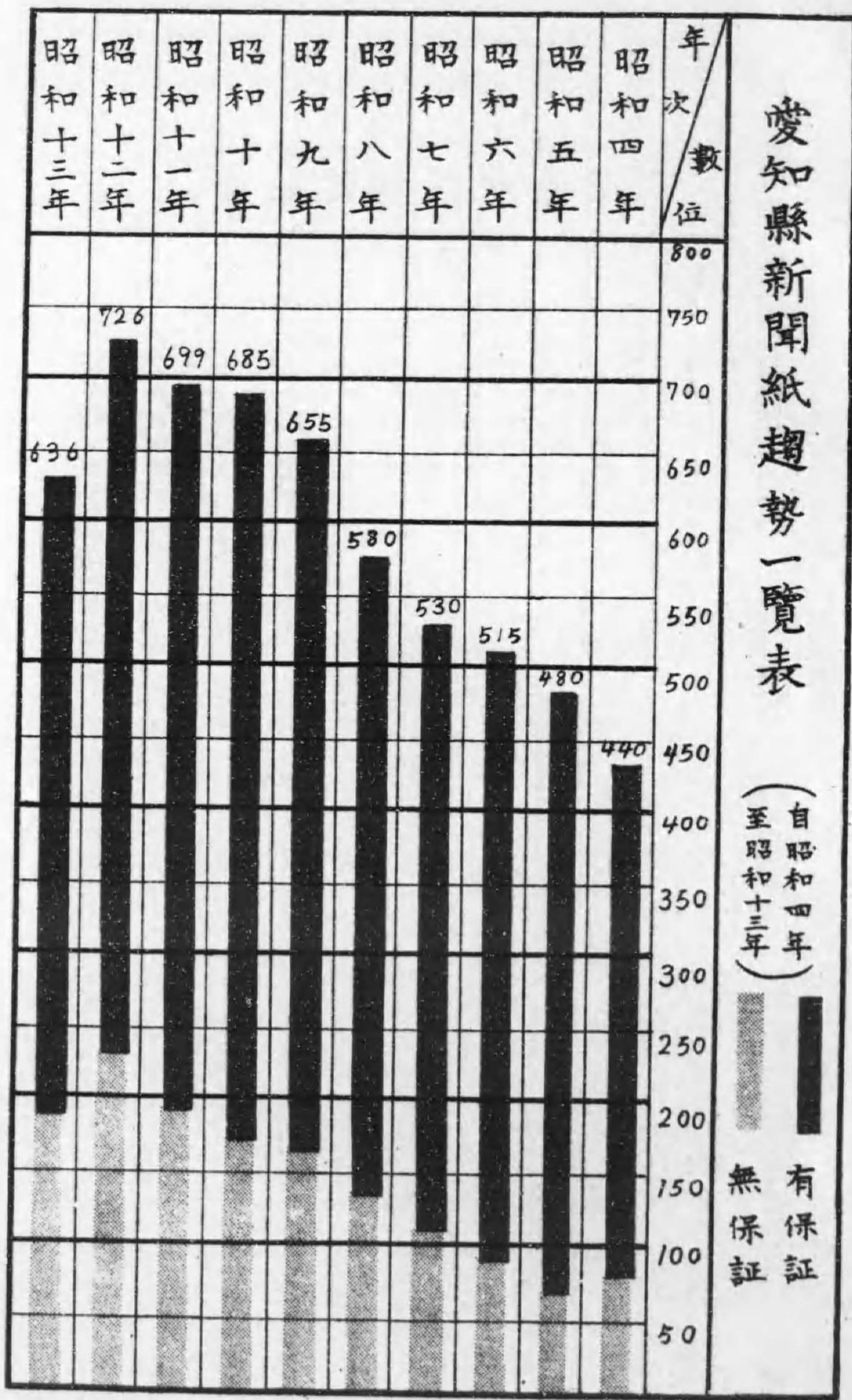
新聞、雜誌は社會公共の指導機關として、或は文化國策に資する重大使命を持ちながら、過去永い間自由經濟營利主義の平和な時代に慣れて、いつしか單なる報導機關と化し、或は營利的に偏しこれが商品化をすら肯定しやうとするものさへ現はれて、誤つた考へ方の上に經營せられてきたことは極めて明瞭で、斯くて一般にも新聞が商品であるときさへ高唱されつゝ、それが當然のやうに通用されてきた、こんな營利主義的經營下に新聞の放任を許さるべきであらうか？

苟も、新聞といはず言論文章といふものは單純に商品化されない、されてはならないところの本質を内包すればこそ、國家はその公共性を認め且つ期待して、それに税金を免除してゐるではないか。その他新聞、雜誌が國家から受けてゐる特典といふものは仲々に鮮少でない。國家からこれほどの特典を與へられてゐる新聞、雜誌が、今尙單なる商品に過ぎないと考へ、又そのやうな考へ方の下に自己の言動を恣にするものがありとするなれば、國家が開關以來の大業遂行に總力を擧げつゝある今次聖戰途上に、斷じて之を放任さるべきものでない。

刻下言論機關の使命は一貫したる國策を正しく指導し、國民大衆の文化的向上を計り、廣く社會教育の實を擧ぐる所がなければならぬ。この重大なる使命を有する操觚界の現勢を究明する意義亦深きを痛感し、茲に本總觀第三版を刊行した所以である。

昭和十三年十二月

愛知縣新聞總觀社



愛知縣新聞總覽

〔錄 附〕	〔部之金證保無〕				〔部之金證保有〕			
	郡	市	市	部	郡	市	市	市
新聞紙法ニ關スル願届書式	新	一	岡	名	半	一	岡	名
出版法ニ關スル願届書式	瀬	宮	崎	古	田	宮	崎	橋
豫約出版法ニ關スル願届書式	戸	宮	橋	屋	部	市	市	市
第三種郵便物認可申請ニ關スル願届書式	部	市	市	市	市	市	市	市
主要新聞、雜誌紹介	部	市	市	市	市	市	市	市
	日	刊	週	刊	月	刊	月	刊

愛知縣下新聞紙趨勢
愛知縣新聞紙發行數一覽表
全國新聞紙現在數一覽表

(いろは順)

全國新聞紙現在數一覽表

(昭和十三年一月現在)

府縣別	類別	總數	有保證金			無保證金		
			日刊	以月四回以上	以月三回以下	日刊	以月四回以上	以月三回以下
全	海	1,326	1,018	609	5,980	224	524	4,456
東	道	506	264	3	2,651	18	113	1,528
北	道	3,183	2,541	1,301	1,566	101	837	1,303
京	都	637	331	10	2,811	7	264	307
大	阪	1,546	95	3	569	3	734	800
神	川	331	19	2	108	3	137	198
兵	庫	72	8	3	267	3	137	44
長	崎	185	10	8	57	2	108	111
新	潟	254	3	3	94	2	108	110
埼	王	7	7	3	3	2	25	25
群	馬	103	14	8	46	2	26	34

千	茨	110	9	1	69	1	26	23
栃	木	87	15	1	41	1	26	23
奈	良	167	9	1	70	1	63	86
三	重	736	44	2	96	1	27	20
愛	知	238	6	2	109	1	27	63
靜	岡	109	8	4	59	1	33	10
滋	梨	87	2	2	63	1	33	24
岐	賀	359	3	2	279	1	38	31
長	阜	141	5	2	44	1	38	78
宮	野	195	8	5	65	1	48	88
福	城	100	4	3	33	1	50	58
岩	手	112	3	3	41	1	57	75
山	森	207	3	3	107	1	73	100
青	形	110	3	3	50	1	73	88
秋	田	87	3	3	37	1	73	75
福	井	85	7	2	49	1	73	100
石	川	104	1	2	29	1	73	88

沖繩	鹿兒	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	和歌	山根	廣島	岡山	鳥取	鳥山	富山
繩島	島崎	本賀	賀分	岡知	媛川	島山	山口	島山	根取	山	山	根取	山	山	根取	山	山
元	二六	一三	八九	一〇三	一一五	五三〇	六九	三三六	九元	元	九六	一五八	三三五	一八三	一五七	一五九	一五八
六	六	三	七	六	三	五	四	〇	三	四	元	一七	一七	〇	二	三	七
七	二	五	五	八	三	三	四	〇	三	一	〇	〇	二	四	三	三	八
二	七	三	四	〇	五	二	七	一	三	三	九	三	八	六	九	元	三
二	五	五	五	五	四	三	〇	三	四	一	五	七	二	一	八	三	七
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	五	六	三	四	三	一	七	二	八	九	六	三	三	元	一	三	九
四	五	七	三	四	三	一	九	二	八	九	六	三	三	元	一	三	九

四

●名古屋市

日刊【有保證金】

新愛知	名古屋新聞	名古屋每日新聞	愛知新聞	名古屋日報	名古屋株式日報	名古屋米濱日報	中京新聞	名古屋通信	中京每夕新聞	日本經濟通信
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日	創刊年月日
發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地	發行所所在地
社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長
發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人	發行人

五

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
共同通信	大正七年十二月一日	中區南大津通り二ノ一六	松原繁吉	窪田捨五郎
熱田新聞	大正九年六月二十日	熱田區熱田新宮坂町一二七	龜谷鰻雄	鈴木房治郎
名古屋經濟新聞	大正九年十二月十八日	中區住吉町一一	後藤新十郎	村上庄太郎
名古屋日日新聞	大正十年三月二十五日	東區石町三ノ一五	小田莊二	梅村喜六
證券商品日報	大正十一年二月二十日	中區米濱町三ノ一	大川幸之助	大野一
東濃每日新聞	大正十一年五月二十三日	中區西川端町一ノ五ノ一	森一兵	高田芳三郎
岐阜日報	大正十一年五月三十日	西區御幸本町通り二ノ二四	大島宇吉	福永祖恭
東濃新聞	大正十一年五月三十日	西區御幸本町通り二ノ二四	大島宇吉	福永祖恭
名古屋綿絲布日報	大正十一年九月十七日	中區仲ノ町二ノ三	山内長幹	早川鮎之助
日本材木新聞	大正六年七月十日	南區西古渡町柳田六〇	神野鐵逸	神戶一
中外羊毛通信	大正十四年六月二十日	東區德川町六ノ六	太田桂次郎	同
同盟通信	大正十五年五月二十二日	中區南大津通り二ノ一	岩永裕吉	吉川義章
名古屋夕刊新聞	大正十年九月十日	昭和區穗波通り二ノ二八	春日井豐	池上實
經濟公論	大正十三年二月一日	西區稻生町八四三	伊藤章	同

昭和每夕新聞	昭和五年四月二十日	港區港本町六ノ一	坂章司	加藤鈴一
名古屋新聞	昭和七年三月三日	中區新榮町七ノ一四	手塚千之助	同
商工興信所日報	昭和三年二月十三日	中區西境町三ノ二五	市川彌三次	同
中京經濟新聞	昭和八年三月十四日	中區矢場町一ノ切一〇	箕浦秀太郎	同
信用交換所日報	昭和八年九月二十一日	東區武平町四ノ三	小出竹樹	同
中央經濟新聞	昭和二年四月十日	中區南伊勢町一ノ八	青木留次郎	平松友一
名古屋全販聯日報	昭和十年十一月一日	西區泥江町二ノ三	山田善一	寺內鐵
日本紡織通信毛糸日報	昭和十年十二月五日	東區櫻町二ノ二	渡邊治幸	同
大阪朝日新聞	昭和十年十一月二十五日	中區廣小路通り二ノ一一	上野精一	山川宗一
大阪每日新聞	昭和十年十一月二十五日	中區大池町一ノ四九	奥村信太郎	兒島清隆
小叢日刊	昭和二年六月五日	東區添地町二一	市原永三	同
日刊陶磁界新報	昭和十一年二月十日	東區德川町二ノ二	大森芳秋	同
名古屋商報	昭和十二年一月十三日	中區堅三藏町三ノ一	武藤保治郎	梶島己津次郎
名古屋自動車日報	昭和十二年二月十五日	千種區今池町四ノ四九	服部繁松	同
大每小學生新聞	昭和十二年十二月二十三日	中區大池町一ノ四九	奥村信太郎	兒島清隆
證券日報	昭和十三年一月二十八日	中區米濱町三	遠藤泰胤	岩瀬秀義

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
日本聯合通信	昭和十三年一月三十一日	中區米濱町三	社本久三郎	安井宗男
東亞每日新聞	昭和二年四月二十九日	西區南外堀町三ノ三	刑部金之助	齊藤吉之助
帝國菓子館新聞	大正三年五月十五日	西區上園町一ノ三三	松本重	同

週刊

【有保證金】

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數
中央、金物新報	明治四十二年一月一日	西區傳馬町三ノ一七	社長又ハ發行人	發行回數
信友綿絲商報	大正元年十一月九日	西區傳馬町六ノ三	田中清吉	每週土曜
兒童新聞	大正十二年八月一日	東區布池町三ノ一二五	前田卯之吉	月五回
名古屋證券新報	昭和五年一月四日	中區南伊勢町一ノ九	木村重正	每週日曜
商機指導通信	昭和十年一月六日	西區那古野町三ノ一〇	伊藤秀吉	每週日曜
大阪名古屋木材新聞	昭和十年二月八日	西區花ノ木町二ノ五	高原守之	月十回
愛知興信所日報	昭和二年一月五日	中區東川端町五ノ二八	辻喜三	每週二回
東京朝日新聞號外	昭和十年十一月二十五日	中區廣小路通り二ノ一一	日高末吉	月十回
			山川宗一	月六回

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數
東京日日新聞號外	昭和十年十二月十三日	中區大池町一ノ四九	兒島清隆	月六回
週刊名古屋自動車新聞	昭和三年二月二十日	千種區今池町四ノ四九	服部繁松	月四回
水産時報	昭和七年三月二十二日	昭和區村田町二ノ八	大木茂夫	月四回
産業朝日新聞	昭和十一年六月十五日	中區西川端町九ノ四四	朝妻庄之助	月五回
名古屋報知新聞	明治三十八年十月二十五日	東區朝日町二ノ二	黒川榮司	月一回
國勢タイムス	昭和十三年一月二十七日	千種區千種本町一ノ三五	前口幸二	隔日發行
東亞新聞	昭和十年一月二十五日	中區池田町六一	任龍吉	一週一回
名古屋證券新報	昭和二年三月八日	東區葵町三四	河崎由太郎	一週一回
名古屋工業新聞	昭和十一年三月二十八日	中區新榮町四ノ六	今村福松	月六回

月刊

【有保證金】 (いろは順)

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數
い糸重商報	昭和三年九月二十五日	西區本町四ノ一四	水野清次郎	月一新
稻山ニユース	昭和十年四月五日	中區鐵砲町三ノ一一	稻山正治	月三新
飲食街評論	昭和五年八月十日	中區南鍛冶屋町四ノ七	伊藤勝秀	月一新

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
服部養鷄園時報	は	昭和三年十一月一日	昭和區廣路町二七	服部銳太郎	月一新
汎太平洋	汎	昭和十一年十月十五日	昭和區柳ヶ枝町一ノ一	田子浩	月一雜
履物仕入月報	履	昭和十二年十月二十日	東區武平町五ノ三	今西卯藏	月一雜
日本水産新報	に	大正十三年十二月二十五日	中區千早町二ノ三九	清金吾	月三新
日本陶磁器時報	日	大正十四年八月一日	中區千早町三ノ七ノ二	野村鍵	月一新
日本中京新聞	日	昭和三年十二月十五日	東區船付町一ノ四三	小林義賢	月三新
日刊あいち	日	昭和五年九月一日	中區南大津通り六ノ五	山田以利亞	月一新
日本警察新聞	日	大正十三年二月十一日	東區東大會根町上一ノ八〇八	禍岡三二	月一新
日本商業興信日報	日	大正十五年十月一日	昭和區決間町一四	中野支朗	月一新
日本家禽新聞	日	昭和十一年五月二十五日	中區東川端町五ノ一八	小松哲次郎	月一新
西愛知新聞	西	昭和十一年十一月一日	昭和區瀧子通り三ノ一九	岩田宗十郎	月二新
NIPPON PINTERRY	ニ	昭和九年七月一日	中村區日置通り八ノ一六	淺野數一	月一新
ニッポンポインタリー	日	昭和十三年四月三日	東區東白壁町二一	山口清高	月一新
日本新聞内報	日	昭和十三年四月三日	中區富岡町三	内堀捨雄	月三新
日本工業情報	日	昭和八年八月四日	東區水切町五ノ六三	辻村仙一	月一新

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
日本農産家禽新報	ほ	昭和十年九月一日	中區松ヶ枝町三ノ一一	山口安衛	月一雜
保健衛生器藥品新報	保	昭和三年四月三日	千種區田代町鏡ヶ池上二〇八ノ五	鷺巢重之	月一新
法喜	法	昭和四年十二月十日	千種區今池町一ノ四三	森部準之助	月一新
豐友	豐	昭和二年十二月一日	中區水主町一ノ三	關山光次郎	月一雜
北東新報	北	昭和七年三月五日	西區番町一七一六	岡本清	年四雜
貿易情報	貿	昭和五年二月十日	東區若葉町通り三ノ一四	横井榮祥	月三新
保險銀行會報	保	昭和九年九月二十日	西區南外堀町六ノ一	中川貞三	月二雜
防空と防火	防	昭和十二年二月二十日	昭和區瑞穂町佃一三ノ二	大出守正	月一新
東亞公論	と	大正十五年四月十五日	愛知縣廳社會課	宮田太郎	月一雜
東亞酒醬油新聞	東	昭和十二年六月十日	東區東水切町二ノ一三	實藤四郎	月一雜
東海藥報	東	大正七年四月十五日	昭和區東郊通り三ノ二四	成田傳之助	月一雜
東海織物新聞	東	大正七年四月四日	昭和區島西町三ノ二	谷準太郎	月二新
東洋織物新聞	東	大正七年四月十五日	東區伊勢町三ノ一五	川村泉	月二新
東邦釀造新聞	東	大正十一年十月二十二日	西區北押切町切敷九ノ二	大塚治三郎	月一新
		大正十四年三月一日	中村區中村町一ノ一四二	谷浦卓郎	月一新
		大正十四年五月十日	昭和區東郊通り一ノ四	平岩眞一郎	月二新

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
時計蓄音器新聞	大正六年六月二十五日	中區西瓦町六三	吉田 淺一	月一新
東邦商業新聞	昭和二年六月十日	千種區赤荻町二ノ五	三宅 貫一	月一新
東海通信	昭和三年三月十日	西區枇杷島通り二ノ九八七	和地 正治	月一同
東海經濟	昭和三年八月十日	中區千早町四ノ一〇	黒田 敦治郎	月一同
東洋國民新聞	昭和二年十月十五日	西區上園町一ノ三三	村田 勝也	月一同
東海食料品新聞	昭和四年六月三十日	中區松元町二ノ一〇	青山 鉦一	月二同
東洋經濟	昭和五年九月二十日	昭和區龜城町五ノ五	淺野 義久	月一雜
東海菓子食玩新聞	昭和八年六月一日	東區東大會根町中三ノ三八七	須藤 源治	月一新
統制	昭和八年八月二十日	東區布池町三二	三井 弘三	月一雜
問屋たより	大正十三年九月十五日	中區鐵砲町一ノ一八	伊藤 幸太郎	月一同
投資研究	昭和十二年三月十一日	中區住吉町一ノ一一	平野 丈夫	月三雜
東光新聞	昭和十三年四月十一日	東區山口町一八	三品 源太郎	月一新
陶磁公報	昭和十三年九月二十日	東區水切町五ノ七四	原田 光嶺	月二同
特急列車	昭和十三年十二月一日	中村區米野町西仲田二八	西塚 壽男	月一同
中央銀行會通信錄	明治三十六年五月二十九日	西區南外堀町六ノ三ノ一	藤田 明三	月一雜
中央藥論	明治四十四年十二月二十七日	中區池田町五六	高木 政男	月三新

中國釀造新聞	大正二年八月二十日	中區彌宣町一五ノ一	中尾 矩市	月一同
中央化粧新報	大正十二年六月二十二日	中區南久屋町二ノ五	淺井 幸太郎	月二同
中央文具新聞	大正十三年九月二十五日	中區白川町五ノ三三	桐山 倉造	月一同
中京警防新聞	大正十四年八月二十日	千種區春岡通り四ノ二二	大脇 藤一	月三同
中央鍼灸時論	昭和二年四月八日	中區西川端町五ノ三〇	中野 桂市	月一同
中央履物商報	大正八年二月二十五日	西區早苗町一六一	坂井 常五郎	月一同
中部化粧品小賣商報	昭和六年二月十五日	中村區中村町五ノ五	山森 康光	月二同
中央業界新聞	昭和六年六月六日	千種區千種町野代田二三	阿部 龜治	月一同
中央市場新聞	昭和七年七月八日	東區船付町一ノ四三	小林 義賢	月三同
中央飲食料品新聞	大正十年六月十日	東區東新町一九	大海 弘	月一同
中外通信	昭和四年九月十二日	中區鐵砲町一ノ一八	伊藤 幸太郎	月一同
中京財界散步	昭和十年九月十日	千種區元古井一六三	高澤 乙彦	月一雜
中央工業新聞	大正十五年十二月五日	西區外田町六	森本 祐一	月三新
中部日本婦人聯盟	昭和十年十二月二十五日	西區御幸本町通り二ノ二四	福永 祖恭	年四雜
中京自動車界	昭和八年十二月五日	東區大津町三ノ一一	龜谷 桐男	月一同
調查事報	昭和十一年六月二十五日	名古屋株式取引所	今井 健治	月一同

題	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
中部毎日新聞	昭和七年八月二十六日	中區池田町八	河合博	月一新
中央新報	昭和三年七月十五日	千種區花田町三ノ一九	丸山久男	同
中部銀行通信	昭和十三年七月二十日	中村區中村町六ノ六三	田代鬼城	同
流線型	昭和十二年一月一日	中區西川端町二ノ二二	安藤勝利	同
L O O K	昭和十年十月二十五日	西區鹽町四ノ六	成瀬義一	月三同
扇屋タイムス	昭和十年九月十五日	中區鐵砲町二ノ二八	平松愛之助	月二同
岡本工業産業報國會々報	昭和十三年十二月十三日	昭和區東郊通り七ノ一五	奥村茂憲	月一新
家庭と佛教	大正十六年一月一日	中區南武平町三ノ五	木津頤	月二新
上宿營業案内新報	昭和二年八月十五日	西區泥町三ノ二	早川喜一	同
關西醫界時報	大正二年二月十五日	東區伊勢町三ノ一五	川村泉	同
勸業	昭和八年十月十八日	名古屋市役所名古屋勸業協會	芳賀成己	月一雜
觀音業	昭和七年三月二十日	中區老松町六ノ二〇	尾崎久彌	年六同
海光	昭和九年十一月一日	港區熱田新田字根走九九	稻垣諭治郎	月一新
紙業新報	昭和八年七月一日	中區西境町三ノ二五	市川彌三	同
家禽と副業	昭和八年七月一日	中區松ヶ枝町三ノ一一	山口安衛	同
關西經濟評論	昭和十一年五月十五日	西區西柳町一ノ四	渡邊信一	同

題	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
觀光と産業	昭和十一年五月三十日	愛知縣廳商工課	近藤半吾	同
菓子公論	昭和十二年六月一日	西區奉公人町六	廣瀨爲吉	同
觀光	昭和十三年十月一日	中區鐵砲町一ノ七	松浦徳次郎	同
浴場新聞	昭和二年三月二十一日	中區三輪町七三	前田健太郎	同
養鷄之日本	大正十四年四月一日	昭和區瀧子通り三ノ一九	高橋徳次	同
揚東新聞	昭和四年十月二十日	千種區田代町南田面	水野正兼	同
養鷄界	昭和七年十月十日	千種區小松町四ノ二八	足立松陽	同
窯業新聞	大正七年二月九日	中區南吳服町二ノ二一ノ三	高橋鏡五郎	同
窯業新聞	昭和十一年六月二十日	西區御幸本町通り二ノ二四	橋本銀二	月三新
讀賣新聞號外	昭和十三年四月二十五日	西區葎原町二ノ六五	近藤喜一	月一雜
輿論	昭和十一年五月一日	昭和區下構町二ノ一八	喜多村修	月三新
養鷄界ニユース	明治三十八年十一月十五日	西區御幸本町通り八ノ八	豐島兵四郎	月一同
瀧定商報	明治四十五年三月三十一日	西區本町五ノ七	大野慶太郎	同
谷健商報	大正八年二月十五日	中區南瓦町六二	青木仙五郎	月二同
大正織物新聞	昭和二年一月二十日	中區仲ノ町三ノ二〇	前田勇峯	月一雜
大亞細亞	昭和三年一月五日	東區水筒先町二ノ四	菊田錠一	同
大名古屋菓子新聞	昭和五年十月十五日	昭和區春山町七ノ三	伊藤重一	同

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
瀧兵商報	昭和七年七月一日	西區御幸本町通り四九	日比完二	一月一雜
大成	昭和八年一月一日	中區門前町三ノ二五	澤田文雄	隔月新
寶無盡月報	昭和九年三月五日	中區古澤町六ノ二	野田永司	月一同
高辻聯區報	昭和九年十二月二十日	昭和區鎌田町三ノ一五	和田範夫	同
大彥商報	昭和十年八月五日	西區小島町八五	野田鉦三郎	同
大孝報	昭和八年二月十一日	千種町内山町二ノ三二	影山庄平	同
大乘報	昭和十二年二月十一日	千種區田代町字北畑一六ノ九	小椋音吉	同
大黎明	昭和九年五月一日	千種區中道町二ノ三二	樋口清	同
相場雜誌株式世界	昭和七年四月十五日	東區東本重町三ノ四	大河原基成	月二雜
相五經濟	昭和十二年十二月十五日	東區石園町一ノ三四	加藤保	月一同
綜合評論	昭和七年四月一日	東區東水切町四ノ四六	河村鶴藏	同
名古屋小間物化粧品商報	明治三十三年四月十日	中區白川町五ノ二七	緒川禎太郎	月三雜
名古屋商工會議所月報	明治四十三年六月十五日	名古屋商工會議所	向井鹿松	月一同
名古屋文具新聞	明治四十三年九月十五日	中區門前町一ノ一九ノ二	佐々邊秀安	同
名古屋輪界	大正二年一月二十五日	東區榎木町三ノ二	奥田明喜	月二同

名古屋藥報	大正四年六月二十五日	中區丸田二ノ一八	不破定二	月一同
名古屋時事	大正六年三月五日	中區西洲崎町二〇	市野德太郎	同
名古屋實業新聞	大正六年三月十九日	西區數寄屋町二ノ一五	平野松次郎	同
名古屋朝報	大正十一年九月十一日	中區宮前町三ノ二二	高木楠三郎	同
名古屋印刷界	大正十三年五月十五日	千種區花田町三ノ八八	和田健	同
名古屋市勢時報	昭和二年六月二十五日	中區館屋町五三	鈴木武文	月二同
名古屋紡織工業組合月報	昭和四年十月二十八日	東區宮町一ノ八	青柳亭	月一同
名古屋家具指物新聞	昭和三年六月三十日	千種區宮西町二ノ一九	瀨見井信一	同
名古屋丹羽幸通信	昭和二年五月十五日	西區下長者町二ノ六	丹羽幸一郎	同
名古屋法曹	昭和二年十二月七日	東區東外堀町一ノ一四	森久太郎	同
名古屋市場新聞	昭和五年五月一日	中區南吳服町二ノ二一	廣野萬三	同
名古屋朝日	昭和六年七月三十日	昭和區豐田町字堀田	堀田茂三郎	同
名古屋文具商工時報	昭和六年十二月二十八日	中區矢場町一ノ切二二	田中寅吉	同
名古屋業界新聞	昭和七年五月二十五日	中區門前町一ノ一	宇佐美關三郎	同
名古屋高商其進新聞	昭和七年七月十日	昭和區瑞穂町川澄一	佐藤英一	同
名古屋無盡多與利	昭和八年十一月三日	東區久屋町八ノ一	河村萬之輔	同

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
名古屋日の出新聞		昭和九年五月十五日	昭和區御器所町北丸屋五〇	高木一男	月二同
名古屋支部報		昭和九年九月一日	西區南外堀町一	石井一雄	同同
名古屋土木建築組合報		昭和九年九月三十日	東區朝日町一ノ六	日向野善次	同同
名古屋請負業組合報		昭和九年十一月十一日	西區菅原町三ノ二ノ一	小櫻秀謙	同同
名古屋佛教青年		昭和九年十二月十日	昭和區東郊通り五ノ一一	平手喜久夫	同同
名古屋酒類醬油新聞		昭和十年三月十日	西區南外堀町一	石井一雄	同同
名古屋國防婦人		昭和十二年三月一日	中區榮町七ノ一〇	佐野康彦	隔一雜
名古屋三田俱樂部時報		昭和十二年四月十日	西區米屋町一一	伊藤銀一郎	月一新
名古屋商業新聞		昭和七年三月三十一日	東區布池町三二	岩田芳之助	同同
名古屋玩具商報		昭和十二年九月五日	中區松ヶ枝町二三	土屋昌平	同同
名古屋米穀商事報		昭和九年八月十日	昭和區瀧子通り三ノ一九	中村當三郎	月三同
名古屋飼料通信		昭和十二年十一月一日	名古屋商工會議所	二之宮義雄	月一同
名古屋ジュニアイチエム		昭和十一年十二月十三日	東區久屋町八ノ一	赤尾安治	月一同
パオプコムマース會報		昭和十三年九月二十日	東區武平町四ノ一	小倉演一	月二同
名古屋印刷同業組合時報		昭和十三年十二月五日	西區花ノ木町四八	森本繁信	月一同
運輸時報		昭和十年一月二十五日			

く	や	ま	け	警	警	警	警	警	警
區劃整理	道	歩	信	活	友	友	友	友	友
昭和十年十月一日	昭和十年四月五日	昭和六年五月八日	昭和十二年五月十五日	昭和十三年六月一日	昭和七年十二月十五日	昭和八年七月一日	昭和九年四月二十五日	昭和五年二月七日	昭和十三年八月十五日
名古屋市役所内	東區京町二ノ五	中區米野町上角田一二五	中區古澤町一ノ四	中區鐵砲町一九二〇	東區東大曾根町本通り三ノ七四	西區御幸本町通り七ノ一四	中區榮町四ノ三	西區押切町四ノ四七	中區南大津通り一ノ一一
保浦英良	田邊辰次郎	水野寅次	牧岡彦太郎	伊藤清一	岡田賢一	林正次	成瀬清藏	山田眞太郎	岡應陽
同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
景氣情報	報	昭和八年八月二十五日	昭和區小樓町二ノ三二	福井 一雄	月一雜
經濟と趣味	報	昭和四年二月一日	中村區牧野町宇多利一三	林 熊藏	同 同
縣政評論	論	昭和十一年七月八日	中區三輪町一六	宮代 時男	同 同
經濟市場動態觀測	測	昭和十一年九月二十三日	西區鹽町一ノ一	小西 永次	月二通
毛織	織	昭和十一年十一月二十五日	西區御幸本町通り	山田 俊一	月一雜
ケイケーニュース	ス	昭和十二年十月三十一日	東區宮町二ノ一六	山守 甚一	年六新
經濟雜誌證券界	界	昭和九年一月一日	中區新榮町三ノ二九	中山 幟之助	月二雜
景氣經濟新報	報	昭和十三年一月十五日	昭和區川澄町三ノ一〇	高岡 秀雄	月一新
佛敎新開	開	大正十二年一月一日	昭和區長池町二ノ二六	大塚 周一	月二同
副防新開	開	昭和十年十月一日	昭和區龜城町五ノ三四	岩田 宗十郎	月一同
國防新聞	聞	大正十一年九月二十九日	昭和區廣路町川名六〇	橫井 鈍牛	同 同
金剛經濟	濟	昭和五年八月十五日	中區大池町六ノ一一	松井 不朽	月二同
國際經濟	濟	昭和六年七月二十五日	昭和區永金町一ノ一	大澤 吉五郎	月一雜
護國經濟	濟	昭和四年十月五日	愛知縣廳內	森 壽三郎	同 同
護國經濟	濟	昭和九年十一月二十九日	千種區元古井一九三	稻垣 勝太郎	同 新

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
合同通信	信	昭和十二年十二月十一日	昭和區樓山町五ノ九二	友田 芳男	月三新
向業上	上	昭和七年二月二十日	昭和區牛卷町三ノ八	村瀬 史朗	月一雜
工業新報	報	昭和十三年八月一日	千種區花田町二八八	阿部 眞人	同 同
工業新報	報	昭和十二年五月一日	中區南桑名町三ノ三〇	藤野 忠郎	月三新
衛生時報	報	大正十四年十二月十二日	東區富士塚町三ノ一〇	村本 熊次郎	月二雜
電業論	論	昭和五年六月二十日	西區花車町一ノ三九	山田 正國	月一同
電業	業	昭和五年九月二十八日	西區田幡町二九五	遠山 繁雄	同 同
電業	業	昭和七年十一月二十日	東區東大會根町上二ノ九〇四	戸谷 章	月三同
鐵道之日	日	昭和十年六月一日	千種區千種本町二	清水 狂二	月一同
鐵道之日	日	昭和十一年六月十五日	千種區春岡通り二ノ一四	天野 憲英	月三新
鐵道之日	日	昭和十三年四月十八日	昭和區白金町三ノ一一	齊藤 清	月一同
愛知縣農會報	報	明治二十年五月十六日	東區西二葉町二四	伊奈 森太郎	同 雜
愛知縣農會報	報	大正六年二月二十五日	中區池田町六八	長谷川 進	月二雜
愛知縣農會報	報	大正十一年八月十日	中區新榮町愛知縣農會	松山 兼三郎	月一同
愛知縣農會報	報	六正十一年八月二十日	愛知縣廳	江口 雄藏	同 同
愛知縣農會報	報	昭和四年二月十一日	千種區小松町四ノ二八	足立 松陽	月二新

題 號 創刊年月日 發行所所在地 社長又ハ發行人 發行回数形態

愛知の肥料	昭和四年十一月一日	愛知縣廳	田中清七	月一雜
愛知縣畜産時報	大正十四年十一月一日	愛知縣廳	大西季影	同 同
油之世界	昭和八年一月二十五日	東區仲市場町二ノ一六	加藤覺治	同 新
愛知の青年	昭和八年三月十日	中區古澤町六ノ二四	清水作松	同 雜
愛知縣產業組合新聞	昭和十年十一月五日	愛知縣廳社會課	額綱軍治	同 新
愛知の社會教育	昭和十二年二月十五日	東區南外堀町一〇ノ二ノ八	河田俊男	月二新
愛知商工時報	昭和十三年四月二十二日	愛知縣廳	樋口亮一	月一雜
あきながひ	昭和四年五月十五日	東區南外堀町六ノ一	鈴木實	月二雜
さきがけ	大正十二年三月十五日	西區則武町向五一〇	長屋康太郎	月一同
産業立國	大正四年六月十日	中區南久屋町一ノ一〇	川島榮之助	同 新
産業經濟新聞	昭和三年十二月一日	千種區都通リ二ノ二五	内藤八郎	同 雜
財界	昭和五年一月二十日	千種區元古井四八	梶田仙左衛門	同 同
産業經濟新聞	昭和七年五月八日	西區南押切町五ノ九	市來義房	同 同
			毛利伊一郎	同 新

産業之日本	昭和二年八月一日	中區岩井通リ三ノ一九	深見富雄	同 雜
財界事論	昭和十一年七月一日	昭和區惠方町二ノ二一	遠藤雅清	同 同
雜株タイムス	昭和十一年九月十五日	中區南伊勢町二ノ八	白木茂好	月二新
産業之世界	昭和十一年一月二十五日	東區矢田町四ノ五二	倉谷政雄	月一雜
産業之亞細亞	昭和十三年九月十五日	西區堀内町二ノ三三	高橋重信	同 同
共濟	大正十一年十一月二十日	愛知縣廳消防課	池谷甲二	同 同
共濟時報	大正十四年一月一日	中區古澤町九ノ四七	遠藤太松	月三同
教育思潮	大正十一年十月一日	千種區田代町字坂上七九	橋本越南	月一同
教育時報	大正十一年七月一日	東區布池町三ノ一二五	推野鎗三郎	月二新
金城新聞	昭和六年四月二十九日	中區若狹町二ノ二	武田豊太郎	月一同
共存時事報	昭和六年八月五日	中區若柳町一ノ七	林信太郎	同 同
教育政時觀	昭和六年八月十四日	西區花車町三ノ一	羽塚隆成	同 同
極政時觀	昭和九年三月二十四日	千種區池下町一	佐藤眞夫	同 雜
銀政時觀	昭和十年七月一日	中區古澤町九ノ一	伊東虎男	同 同
有奇農業	昭和八年二月一日	昭和區瑞穂通リ一ノ五	山田福夫	同 同

題名	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数	形態
名港時事新聞	昭和八年六月二十五日	港區魁町四ノ六一	山田 國	隔一	新
名鐵	昭和十一年七月十五日	東區車道東町一四九ノ一	森 幹生	月一	雜
名教	昭和十二年三月十五日	西區南外堀町六ノ一ノ三七	小出 春吉	同	新
名衛	昭和十三年四月一日	名古屋市役所保健部	山際 茂雄	同	雜
名大學友會報	昭和十二年十二月三十日	昭和區鶴舞町名古屋醫科大學	和久井 權作	同	同
美大	昭和十三年五月一日	中區東田町二ノ三四	佐野 久直	同	新
美士	明治三十九年十一月十日	中區千早町五ノ一六	田島 龍夫	同	雜
商東タイムス	大正十二年二月十一日	東區清水町八ノ四七	淺井 清次郎	同	新
時事新聞	大正十五年十二月一日	中村區西日置町七ノ三	石原 敏逸	同	同
人民新聞	昭和三年九月十三日	東區主稅町二ノ一〇	篠田 留吉	同	雜
至誠	昭和三年十月一日	千種區田代町堀割七二ノ二八	鈴木 光圓	同	同
社會公論	昭和四年九月二十五日	東區東杉町二ノ一五	神戶 丹吾	同	雜
時勢	昭和五年十一月二十五日	西區南外堀町三ノ一	加藤 三郎	月一	新
新名古屋新聞	昭和六年一月一日	西區兒玉町五三七	宇佐見 桑治	月三	同
JOCK	昭和五年九月一日	名古屋中央放送局	淺井 兵一	月一	區

守國	昭和六年八月十五日	熱田區旗屋町二九二	興 鋼二	同	雜
新時報	昭和六年八月十五日	東區長田町四ノ七七	小坂 文語	同	同
自治擁護新聞	昭和六年十一月十五日	西區江中町一ノ四	辻井 富三	同	新
商工經濟新聞	昭和八年一月一日	中區南園町二ノ五八	後藤 鐵次郎	同	同
信用通	昭和八年一月十五日	東區神田町四ノ三六	伊藤 鉄一	月一	雜
照啓	昭和八年五月十五日	中村區北一色町深井一一六	伊藤 益次郎	同	同
自心人日	昭和八年九月十三日	千種區青柳町六ノ五	常盤 隆澄	同	新
神心人日	昭和九年一月一日	中區西塚町一七	福田 敬二郎	同	雜
商工情報	昭和五年五月一日	西區天神山町二ノ一五	小西 直一	同	同
信州人報	昭和七年十月十日	中區西川端町一ノ五	村田 直治	同	新
旬刊太平洋	昭和八年八月十五日	中區老松町六ノ三〇	伊藤 博	月三	雜
新開往來	昭和十年十一月二十一日	千種區坂下町一ノ九	重枝 四男	同	新
清水母の會月報	昭和十一年二月十七日	東區深田町三ノ六八	伊藤 喜美	月一	同
シヤチ新聞	昭和七年二月五日	中區住吉町三ノ二二	梶田 純尾	同	同
人物展望	昭和十一年三月一日	東區矢田町九ノ三六	渡部 茂	同	同
新興名古屋	昭和十一年三月十三日	中區伊勢町一四四	山下 三葉	月一	新

題 號

創刊年月日

發行所所在地

社長又ハ發行人 發行回数形態

社會情報報	昭和八年七月五日	千種區神田町一ノ三五	神谷 睦夫	月一新
昭和齒科醫報	昭和六年十一月三日	中村區日比津町野合一四ノ二	山田 忠夫	月一同
しのよめ	大正十五年九月廿九日	千種區宮西町二ノ一九	瀨見井信一	月一同
新愛知社報	昭和十一年七月三十日	西區御幸本町通り二ノ二四	福永 祖恭	月一同
趣味と衛生	昭和十一年十二月一日	中區大坂町一ノ二	勝川勝二郎	月一同
商工評論	昭和八年三月七日	昭和區雁道町三ノ五	羽田 野茂	月一同
信友月報	昭和十二年九月十日	東區櫻町一ノ一二	石原 夙次郎	月一同
支那事變名古屋市後援會々報	昭和十二年九月十一日	名古屋市役所内	安田 榮吉	月一同
市民新聞	昭和十二年十二月一日	中村區元中村町一ノ一三	鈴木 橋夫	月二同
昭和時代	大正十二年七月二十日	昭和區都島町一ノ七	藤田 國光	月三同
正中時論	昭和七年八月一日	東區筒井町一ノ四	都島 鈴吉	月一同
新興通信	昭和十三年四月二十三日	東區新出來町一ノ二	山内 荒治郎	月一同
自動車往來	昭和十三年五月二十五日	昭和區廣瀨町三ノ八	加藤 義晴	月一同
商業經濟論叢	昭和十三年六月二十五日	昭和區瑞穂町川澄一	近藤 良男	月四同
昭和商工無盡月報	昭和十三年九月一日	西區傳馬町七ノ一	加藤 勉	月一新

ひ 美

ヒョコ	大正十五年四月十日	西區明道町四	拜 郷 正	月二同
人と事業	昭和十一年十月二十日	昭和區瑞穂通り二ノ一一	山口 得三	月一同
木材評論	昭和十三年五月二十五日	東區生駒町一ノ二三	鹽澤 芳茂	月一同
木材統計特報	昭和十二年一月一日	西區柳町一ノ二九	伊藤 好一	月三同
政治時論	昭和十三年十月三十日	昭和區狹間町九	西尾 辰彦	月一同
性の友	昭和四年三月十日	東區杉榮町一ノ四	荒木 令史	月一同
全國清涼飲料新聞	昭和四年十月一日	名古屋市役所内	平手 福太郎	隔月一同
青 劍	昭和九年五月十八日	東區東新町一九	大海 弘	月一新
正 劍	昭和九年十二月十五日	西區南外堀町一	石井 一雄	月一新
生活新報	昭和九年四月十八日	中區西松ヶ枝町二七ノ二三	堤 章	月三新
製菓新報	昭和十年四月一日	東區東水切町四ノ四五	羽田 潔	月一新
精神と産業	昭和五年十二月十日	西區上島町三六	城崎 仙造	月一新
	昭和十三年二月十一日	中區七本松町二ノ八	竹内才三郎	月二同

●豐橋市

日刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
豐橋同盟新聞		明治三十三年十一月三日	西八町三八、三九	高橋小十郎	內田惣次郎
日刊東海時事		大正七年十二月二日	談合町三〇	中西謙三	同
豐橋通信新聞		大正十年十二月一日	關屋町一〇ノ三	井澤欣三郎	同
豐橋商業新報		大正三年八月一日	花田町字石塚四〇ノ一	新井諦助	三輪野捨四次
同盟通信		昭和九年七月二十日	花田町石塚四〇	岩本裕吉	吉川義章

週刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数
東參繭絲要報		明治三十九年七月二十九日	瓦町字道下八	富安鷹次	月五回
豐橋每日新聞		大正十三年三月十八日	花田町狹間七七	近藤松右衛門	隔日發行

月刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
豐橋商工會議所月報		大正十年六月十日	花田町石塚四十二ノ一	鈴木澄衛	月一雜
豐橋藥報		大正十四年六月二十三日	新錢町三八	牧壽一	同新
日新新聞		大正十五年四月一日	花田町狹間六四	小池兩藏	同同
東海公論		昭和七年二月十一日	東八町一	白井千	同雜
東海會社時報		昭和七年七月二十五日	魚町一〇七	寺田毅一	月二新
愛知土木建築新聞		昭和十一年七月三十日	旭町三二六	芳賀泰治	月三同
中外養鷄新聞		昭和十一年四月二十日	花田町里福四三ノ一	川上義隆	月二新
榮證券商報		昭和十三年五月九日	吳服町二二	鹽野靜雄	月三同

●岡崎市

日刊

【有保證金】

題 號 創刊年月日 發行所所在地

岡崎朝報 明治三十四年六月十日 康生町二六〇

新三河 明治三十二年二月十一日 康生町七五三ノ一

社長 長 發行人

竹内京治 榊原金之助

藤田錢松 同

週刊 【有保證金】

岡崎商業新聞 昭和十二年三月十四日 上六名町原二六ノ八

社長又ハ發行人 發行回数 每日曜日

小林京太郎

月刊 【有保證金】

西三新聞 大正十一年十月十五日 西魚町七七

革新新報 昭和八年五月十日 元能見町一五七

額田郡報 昭和九年三月一日 康生町一一一

額田郡報 昭和八年四月十日 康生町二五

岡崎商工會議所月報 昭和九年八月二十五日 連尺町八一

岡崎保護時報 昭和十年二月二十日 梅岡町字虎石一

社長又ハ發行人 發行回数形態

中尾信之 月三新

岩瀬廣吉 月一同

本田由三郎 同

服部廉平 同

中野重義 同

小栗賢護 隔一新

宮市

日刊 【有保證金】

岡崎新聞 昭和四年九月八日 康生町二六七ノ二

岡崎の青年 昭和十二年五月十日 龍田町一〇三ノ二

共済新報 昭和十二年三月五日 福壽町一一八

誠和 昭和十三年六月一日 日名町三五三

教育評論 昭和十三年八月十五日 龍田二二

天野啓太郎 月一同

鈴木政六 同

金炳厚 同

淺野謙三 年四雜

足立一平 月一同

尾州新聞 大正十一年四月二十五日 石山町一

社長 長 發行人

中村義雄 同

東海商工新聞 昭和三年四月八日 公圓通り二ノ二〇

中部日日新聞 昭和十年四月十一日 公圓通り三ノ八

古賀末吉 同

伊藤宗祐 同

月刊 創刊年月日 發行所所在地

【有保證金】

尾西織物同業組合月報	大正十二年五月二十日	明治通り二ノ二二	社長又ハ發行人	廣瀬長雄	月一	雜
市政新聞	昭和五年七月二十五日	貴船町一ノ三五	谷豐照	月三	同	同
自由新聞	昭和七年四月二十日	石野町四ノ一〇	大橋幸太郎	月三	同	同
一宮通信	昭和八年三月二十三日	南石野町一二	寺澤保賀重	月二	同	同
旬刊大成	昭和七年六月五日	傳馬通り二ノ一九	北川朝生	月一	同	同
一の宮新聞	大正九年二月二十日	柳戸町一ノ四〇	寺澤茂	同	同	同
中部時事新聞	昭和九年三月十九日	花祇町四ノ八	奥田嘉一	月二	同	同
土建産業	昭和十二年十月八日	石野町五ノ一一	伊佐治繁治	月一	同	雜
革新時報	昭和十三年二月二十五日	花祇町三ノ一ノ七	梶田勝利	同	同	新

● 瀨 戸 市
日 刊
【有保證金】

大 瀨 戸 創刊年月日 發行所所在地 社長 發行人
 昭和三年四月一日 瀨戸市三九三 安藤政二郎 同
 中央商業 昭和六年四月十七日 瀨戸市二六七 杉山金一 同

【有保證金】

題 號 創刊年月日 發行所所在地 社長又ハ發行人 發行回數形態
 陶都の礎 昭和五年三月六日 瀨戸三二八ノ七 加藤景爾 年六新
 日本黨業新聞 昭和六年四月二十日 瀨戸西本町二九八五 加藤五三郎 月一同
 工業組合事報 昭和七年三月五日 瀨戸三二三二 藤井正勝 月三同
 皇化 昭和十一年十一月二十三日 瀨戸一〇六八 伊藤茂夫 月一同
 尾三新聞 大正十二年二月十一日 瀨戸一三〇八 野崎千尋 月十五同

● 半 田 市
日 刊
【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
知多新開		明治三十二年十一月七日	半田市北條一	日比格	野田匡造
日刊半田新聞		大正十二年十二月三日	半田市西勘内二ノ一	佐々木重義	同
半田新聞		大正十一年八月五日	同 市山方新田二〇〇ノ一	加藤千太郎	加藤貞雄

月刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
衣ヶ浦新報		昭和二年五月二十日	半田市字北大股三七	榑原眞一	月一新
衣浦通信		昭和三年五月二十日	半田市龜崎町大字龜崎	成田格次	月二同
半田土建組合報		昭和十年五月二十五日	半田市字南大股六ノ一	坂野信四郎	月一同
日鮮新聞		昭和十三年四月二十九日	半田市郷中七二	長田勝治	同



日刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
尾西タイムス		大正七年八月二日	海部郡津島町大字向島字居森一八六六ノ九	津谷安太郎	同
民衆時報		昭和五年三月二十五日	幡豆郡西尾町大字大給七六	浦野仙吉	同
尾張新聞		昭和八年十二月十一日	丹羽郡岩倉町大字岩倉字下市場一三九	河村彦三郎	同

週刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数
尾北新聞		大正九年十月一日	丹羽郡犬山町大字犬山字東古券三六七	山田濱一	月四
加茂時報		大正九年九月十五日	西加茂郡舉母町大字舉母字籠前四ノ二脇田	大山	週刊

月刊

【有保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
津島新聞		大正九年四月十五日	海部郡津島町字有根ホノ割	佐藤銀松	月二新
常滑實業新聞		大正十年十二月六日	知多郡常滑町字北屋敷五九	藤井廣吉	同

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
鳴海新報	芳	大正十二年四月一日	愛知郡鳴海町字矢切一六	伊藤宗太郎	月一同
關西新報	芳	大正十四年三月一日	碧海郡安城町安城農林學校	岩槻信次	月一同
養鷄經濟時報	芳	大正十五年十月三十一日	海部郡津島町大字向島甲二七四	寺本圭一	月三新
朝日新報	芳	昭和二年六月一日	寶飯郡一宮村大字大木字鐘木三七	向坂富作	月一同
愛知陶管新報	芳	昭和二年九月十日	丹羽郡犬山町大字犬山字西古券三二	小島太三郎	月二同
勝川時報	芳	昭和五年一月十日	知多郡常滑町字屋敷田三〇	伊奈長三郎	月一新
東海魁新報	芳	昭和五年四月十五日	東春日井郡勝川町役場	野浪丑之助	月一同
尾濃新報	芳	昭和五年九月十三日	海部郡津島町大字津島字小沼口ノ割五一七	眞野志岐夫	月一雜
碧海タイムス	芳	昭和五年十一月五日	丹羽郡古知町大字兩高屋神戶一	瀧倉雄	月三新
福地養鷄時報	芳	昭和七年八月二十日	碧海郡安城町大字安城字花ノ木五三	小西喜市	月一同
横須賀新報	芳	昭和七年十月一日	幡豆郡福地村大字細地家下七二	伊藤健治	月一同
彌富新報	芳	昭和八年一月二日	知多郡横須賀町役場	建部清一	月一同
旭交新報	芳	昭和八年三月十五日	海部郡彌富町役場	中谷英藏	月一同
	芳	昭和七年四月一日	碧海郡明治村大字和原二六三	都島季札	月一同
	芳	昭和八年十一月二十六日	愛知郡豐明村大字間米二〇八	成田孝	月一同

中山養鷄時報	芳	昭和六年五月五日	東春日井郡旭村大字新居三二九二	若杉由一	月一同
同胞新報	芳	昭和九年二月二十日	知多郡常滑町字奥條九五	石崎貞作	月三同
武豐町報	芳	昭和九年四月十五日	知多郡武豐町役場	出口照	月一同
大青新報	芳	昭和九年五月十五日	知多郡師崎町大字大井字眞向二〇	酒井伊吉	月一同
中外民報	芳	昭和九年五月十五日	中島郡起町大字東五城字備前五六	河村誠一	月三同
産業經濟	芳	昭和九年五月三十日	渥美郡田原町本町六五ノ二	小林實治	月二同
養鷄朝日新報	芳	昭和九年九月二十五日	丹羽郡犬山町大字犬山五六一	佐藤廣治	月一同
吉田町報	芳	昭和九年十月十日	幡豆郡吉田町役場	判治孫三郎	月一同
三河報知新聞	芳	昭和十年二月十一日	幡豆郡一色町大字一色字亥新田一	渡邊順一	月三新
他山の石	芳	昭和十年二月五日	東春日井郡守山町字小幡一九七五	桐生悠々	月二同
三河朝日新聞	芳	昭和十年八月二十五日	幡豆郡一色町字前野川原	伴佐一	月一同
東海評論	芳	昭和七年七月十五日	海部郡津島町大字津島字小沼スノ割	鈴木良一	月一同
日本養鷄新聞	芳	昭和十年九月一日	碧海郡六ツ美村大字中島字藥寺一五	神谷松五郎	月一同
明好村報	芳	昭和十一年三月十八日	愛知郡天白村大字八事字八幡山	木下薫	月一同
三好村報	芳	昭和十一年四月二日	西加茂郡三好村役場	久野源藏	月一同
岡田町報	芳	昭和十一年四月二十日	知多郡岡田町役場	伊井伊男	月一同

題號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
東海時報	昭和九年四月十五日	幡豆郡西尾町大字鶴城字西花ノ木	芝田鐵之助	月一新
南知多	昭和十一年十月一日	知多郡内海町大字内海字中之郷	内田貞六	同
安戸之養鶏	昭和十一年十月一日	丹羽郡羽黒村大字羽黒字南郷	奥村清一	同
岡田町青年團報	昭和十一年十月二十三日	知多郡岡田町字西島三一	深津庄二	同
更美時報	昭和十一年十月十日	額田郡幸田町大字菱池字錦田	鈴木兵助	同
渥美時報	昭和十一年十一月一日	渥美郡田原町大字田原字新町	今泉靜夫	同
東洋總愛新報	昭和十一年十一月十五日	寶飯郡清那町大字清那字荒子六〇	平野松太郎	月三同
扶桑村報	昭和十一年十一月二十日	丹羽郡扶桑村役場	千田正直	月一同
尾州織物報	昭和十二年一月一日	葉栗郡木曾川町大字黒田藏之浦七三	平松賢十郎	年六雜
鐵道評論	大正十五年七月二十日	丹羽郡扶桑村大字柏森二四四戸	今枝茂	月一新
碧海産業組合新聞	昭和十二年一月十日	碧海郡安城町大字安城字數馬一六	山田守	同
横須賀村報	昭和十二年一月五日	幡豆郡横須賀村役場	中島定治郎	同
野間村報	昭和十二年四月十五日	知多郡野間村役場	森清弘	年六同
鳥要養鶏時報	昭和十二年四月一日	丹羽郡扶桑村大字柏森	河合要一	年六同
中部日本新聞	昭和十二年一月一日	海部郡津島町大字津島字川原ヶ坪水ノ割	酒井實	月一同

津島新聞	昭和四年七月二十日	海部郡津島町南門前二〇〇二	廣瀬三男	月三同
民友新聞	昭和六年九月二十五日	丹羽郡古知野町大字古知野字論天	後藤兼雄	月一同
舉母町報	昭和十二年七月十日	西加茂郡舉母町舉母經濟更生委員會	山田七郎	同
月刊愛知	昭和十二年七月十九日	丹羽郡大口村大字小口字城屋敷	大竹節三	同
常滑町報	昭和十二年七月十日	知多郡常滑町役場	山田龍一	同
警察と工場	昭和十二年八月五日	丹羽郡古知野町字榮町	安藤杉太郎	同
農藝	昭和十三年二月一日	碧海郡安城町愛知縣立農事試驗場	岩槻信次	同
東海公民新聞	昭和十三年四月二十日	愛知郡鳴海町字北浦三二	磯田靖造	同
岩津町報	昭和九年七月十日	額田郡岩津町役場	加藤錫太郎	同
郷本副業新聞	昭和十三年一月一日	寶飯郡蒲郡町大字蒲郡	淺井英一	同
三和ニユース	昭和十三年六月十日	幡豆郡一色町字亥新田一	渡邊順一	月三新
聖和ニユース	昭和十三年八月十日	知多郡大高町字平根山九	伊藤正七	月一新
甚目寺町報	昭和十三年四月二十日	葉栗郡北方村大字北方	水野正吉	年二雜
日刊朝日新聞	昭和十三年九月一日	海部郡甚目寺町役場	濱島義雅	隔一同
昭和養鶏新聞	昭和十二年十一月七日	碧海郡大濱町字本郷六三	櫻田等	月二新
愛知養鶏新聞	昭和十三年十一月十五日	南設樂郡新城町字町並一五〇	本田文一	月一同
愛知養鶏新聞	昭和十三年十月三十一日	愛知郡豐明村大字東阿野字上畑田一一二ノ一	梅村奈良末	同

●名古屋市

日刊

【無保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長	發行人
梶拔所日報		昭和四年五月一日	港區船見町一	日比駒之助	川原田信男
名古屋昇線日報		昭和五年三月三日	中區南伊勢町一ノ八	二村三郎	同
火災通信		昭和九年七月五日	中區千早町四ノ一〇	黒田教治郎	同
日刊昇線新報		昭和九年九月一日	東區針屋町三ノ一四	田中源之助	同

週刊

【無保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回刊
證券新報		大正六年十月五日	中區榮町四ノ二	河合熊五郎	每週土曜
名村統計		昭和八年十月五日	昭和區狹間町九	西尾辰彦	月五回
相場觀測大德通信		昭和十一年五月十一日	東區車道東町八〇	龜井俊三	週數
名古屋市公報		昭和十三年六月二十日	名古屋市役所	大岩勇夫	每週一回

高岡經濟研究所報

昭和十三年十月二十四日

東區東大會根町中二ノ三五三

高岡安五郎

月八回

月刊

【無保證金】 (いろは順)

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
糸彦商報		大正九年十二月五日	中區南伊勢町一ノ五	日下部純三	月一新
巖の		昭和十三年八月十一日	東區徳川町五ノ一	加藤亮造	隔月一雜
母の		昭和九年七月一日	千種區田代町坂上七九	橋本華子	月一同
華の		昭和十三年十二月一日	東區徳川町二ノ四	船橋政一	同
日新タイムス		昭和二年二月十日	西區菊井町三ノ一八	田口明	同
日本美術		昭和七年六月十日	中村區西日置町七ノ一	吉田久次郎	同
西區報		昭和十年三月十日	名古屋市西區役所	森田嘉十	同
二區商報		昭和十三年一月一日	西區兒玉町江越四	北原榮次郎	同
西區報		昭和十三年九月一日	東區西杉町二ノ三五	各務秀雄	同
豐國新聞		昭和十三年四月一日	中村區牧野町一ノ二一	關戸好行	同
報新		昭和十三年八月八日	中區上前津町四ノ一	西尾勘藏	同
へーブルメント		昭和十三年四月十五日	千種區花田町二ノ六九	高橋經美	同
と東海野球新聞		昭和九年十月三十一日	南區駒場町四ノ一二	長谷川八郎	同

東亞新報	昭和十一年一月二十日	西區辻町新明四五	村瀨丈一	一月一雜
東海競馬新聞	昭和十年四月十六日	昭和區宮戸町六一	松本義顯	同新
中央朝日新聞	昭和十年九月二十五日	東區東長田町四ノ四五	大岩駒平	同同
中京證券時報	昭和九年二月二日	東區車道東町一六三	大山信一	同同
千種區報	昭和十二年十二月二十七日	名古屋千種區役所	伊藤道廣	同同
千種區政新聞	昭和七年二月二十七日	千種區田代町西畑三	水野時二	同同
貯蓄建築新聞	昭和十三年六月十八日	中區老松町一〇ノ三	三品幸守	同同
町政	昭和十三年十一月五日	中區老松町一ノ二八	前田昌廣	同同
綾羅錦繡	昭和十三年五月十日	中區門前町五ノ五七	服部藤次郎	同同
親ノ愛ヲ知ル新聞	昭和十三年二月十五日	中區流町三七	小出信義	同同
觀光愛知	昭和十二年四月二日	愛知縣觀光協會内	名倉一己	同同
家庭新聞	昭和十二年九月十五日	中區小林町一二	鈴木橋夫	同同
上之切青年	昭和十三年七月五日	東區清水町六ノ七	松原巖	同同
家庭の青年	昭和十三年十月一日	中區東田町二ノ一六	小池長	同同
養鶏月報	昭和五年十一月一日	昭和區竹田町四ノ五	若山康彦	同同

羊彩	昭和十二年十二月十五日	東區梅町二ノ二	所惣治郎	同同
館本時計商報	昭和二年四月一日	千種區花田町一ノ八	館本確二	同同
大名古屋通信	昭和十一年十一月十五日	中區西瓦町八七	水野太藏	同同
關報	昭和十三年十月二十五日	東區駿町三ノ一	刈谷眞次	同同
聯合廣告新聞	昭和十年十二月二十日	中區老松町四ノ三五	松田操	同同
名古屋朝日新聞	大正七年四月二十五日	中區流町三四	安藤準成	同同
名古屋經濟統計月報	昭和四年十一月八日	名古屋商工會議所	向井鹿松	同同
成田養鶏場時報	昭和五年十一月一日	昭和區廣路町石佛八〇	成田熊吉	同同
名古屋東郊孵化場時報	昭和五年十二月一日	昭和區荒田町一ノ一四	余語忠三郎	同同
名古屋石原金物商報	昭和六年五月三十日	中區東柳町八二	石原榮三郎	同同
名古屋瀧市商報	昭和二年五月十五日	西區下長者町二ノ八	瀧市太郎	同同
名古屋釣新聞	昭和九年三月二十五日	中區東田町三ノ二〇	宮川常吉	同同
名古屋菓子商工組合公報	昭和九年四月十日	西區南外堀町六ノ一	小島施三	同同
名古屋市民日報	昭和九年十一月二十七日	東區西杉町三ノ二六	杉野三十郎	同同
中區報	昭和十年三月五日	名古屋市中區役所	森本竊	同同
名古屋和服縫陸會報	昭和十年八月十日	東區武平町五ノ二	水野市郎	同同

題 號	創 刊 年 月 日	發 行 所 所 在 地	社 長 又 は 發 行 人	發 行 回 數 形 態
名古屋TS俱樂部會報	昭和十一年六月十五日	東區葵町三二	間瀬 靜六	年二回
名古屋履報	昭和十二年一月十五日	中村區牧野町五ノ三一	吉川 實藏	月一雜
名古屋市電氣局共濟時報	昭和十二年一月二十五日	西區南外堀町六ノ一	佐藤 憲造	同 新
中 村 區 報	昭和十二年十二月十五日	名古屋市中村區役所	大淵 貞好	同 同
名古屋友の會月報	昭和十三年一月二日	昭和中區南山町一	井塚 合子	同 同
名古屋教報	昭和十三年一月五日	中區下茶屋町一	北條 義章	同 同
中 川 區 報	昭和十三年一月二十五日	名古屋市中川區役所	加藤 義 巖	同 同
名古屋工業會々報	昭和十三年二月一日	昭和中區御器所町	鳥 義 男	同 同
名古屋薪炭問屋同業組合月報	昭和十三年三月二十日	名古屋高等工業學校內	吉岡 一夫	同 同
名古屋青木月報	昭和十三年十月二十五日	西區大船町二ノ四	梶川 正三	同 同
名古屋教區報	昭和十三年十一月二十日	中區八百屋町一ノ一五	牧野 房男	同 同
む つ み	昭和十一年八月一日	昭和中區五軒家町六	二羽 俊平	同 同
梅 田 商 報	昭和九年三月十五日	昭和中區東郊通り六ノ一四	梅田 告重	同 同
お 家 の 友 報	昭和十三年八月一日	昭和中區洲原町一ノ六〇	二羽 俊平	同 同
お 積 古 の 菜 光	昭和十三年四月二十日	昭和中區東郊通り六ノ一四	加地 右一	同 同
く 國 の 光	昭和五年十月五日	東區東二葉町四二	恒川 平一	同 同

四四

や 合 商 店 商 報	昭和十三年七月十五日	東區東門前町三ノ三九	犬飼與會吉	同 同
ヤ マ イ ズ ミ	昭和十二年七月五日	東區柳原町二ノ三八	加藤 三郎	同 同
現行法規加除綴	明治三十四年八月十五日	西區傳馬町三ノ一七	田中 清吉	月二同
敬 愛	昭和八年四月十五日	昭和中區綠町一ノ七	大溪 賢雄	月一雜
月刊袋物キセル	昭和九年十二月十二日	中區鐵砲町三ノ三	安田 利助	同 新
ふ 福 壽 生 命 直 營 部 報	昭和九年六月十日	中區南大津通り一ノ四	奥村國太郎	同 同
こ 鯨 光	大正十六年一月一日	中區永樂町七	早川忠三郎	同 同
向 上 の 友	昭和六年八月三十五日	西區皆戸町三	伊藤 俊二	年二雜
公會堂ニユース	昭和十年二月一日	名古屋市公會堂	高井 鏡一	月一新
公認名古屋鍍金業組合月報	昭和十二年七月二十七日	中區岩井通り大須ビル	蒲原萬太郎	月一雜
子 供 の 街	昭和十三年一月十日	昭和中區東畑町一ノ八	都島 紫香	同 同
御器所飲食店月報	昭和十三年四月二十五日	昭和中區瑞穂町花目三〇	市川鉦太郎	同 同
て 天 理 教 名 京 大 教 會 教 報	昭和十一年九月二十八日	千種區田代町字西畑五三	松浦 幸藏	年一新
鐵道受験數學指導	昭和十二年二月二十日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一雜
鐵道受験界	昭和十二年二月一日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	同 同
あ 愛 知 ノ 産 業 組 合	昭和八年八月三十一日	愛知縣產業組合內	宮下 一郎	同 同

四五

題名	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
愛知石炭協會々報	昭和九年十一月二十五日	中區大池町四ノ一	野田八之助	月一雜
愛商の野球	昭和十年五月三十一日	千種區千種本町六ノ二〇	則武甫	隔一新
熱田區商工勢	昭和十二年十一月十五日	名古屋市熱田區役所	中島雄次郎	月一同
愛知商工	昭和十三年八月五日	西區御幸本町通り一	菅原省三	年六同
佐藤商報	昭和九年十二月三日	東區京町一ノ一八	佐藤義一	月一雜
財團、日本少年保護協 法人、會愛知支部會報	昭和十一年九月十五日	愛知縣廳社會課	伊藤文一	月一同
THE UNTEEN NEWS	昭和十二年二月五日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一同
THE ELECTRIC CAR & LOCOMOTIVE	昭和十二年二月一日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一同
THE RAILWAY NEWS THE LOCOMOTIVE ENGINEERING	昭和十二年二月二十日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一同
金の星	昭和十二年二月一日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一同
業務と研究	昭和十年十月二十八日	昭和小針町一ノ一一	松田源藏	月一同
求道の友	昭和十二年四月一日	東區鍋屋町二ノ一六	山田慶太郎	月一同
局報	昭和十三年二月十日	昭和小針町一ノ一一	山田慶太郎	月一同
名局電	昭和十三年四月十五日	昭和小針町一ノ一一	山田慶太郎	月一同
名電	昭和十年二月一日	名古屋市役所電氣局	可世博文雄	月一同
名電	昭和十一年四月十日	名古屋鐵道株式會社	渡部重男	月一同
名電	昭和十一年四月十日	中區廣小路通り一ノ六	内山博忠	月一同
名電	昭和十一年四月十日	中區廣小路通り一ノ六	岡崎直水	月一同

題名	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
みみ	昭和七年六月五日	中區新榮町一ノ一五	野中明範	月一同
水	昭和十三年六月一日	東區東大會根町南一ノ四四	岡崎賤惠	月一同
自治衛生	昭和九年四月十五日	愛知縣廳衛生課	水野愛三	月一同
人事相談	昭和九年十二月四日	中區老松町四ノ三五	馬路寅一	月一同
趣味の日	昭和九年十二月八日	中村區則武町野畑二九八	丸山久男	月一同
新時	昭和十年三月二十日	熱田區東町金山一四	宮村汝春	月一同
秀	昭和十年十一月十五日	中村區則武町三七六八	武市兼松	月一同
社會教育	昭和十一年十一月三日	熱田區熱田東町夜寒七六	梅村兼松	月一同
新報	昭和十二年四月三日	名古屋市新榮警察署	淺野新一郎	月一同
昭和區報	昭和十二年十二月十五日	名古屋市昭和區役所	山田進	月一同
新與タイムス	昭和十年六月一日	中區南園町一ノ一三	山内荒治郎	月一同
趣味の料理	昭和十三年二月十五日	東區久屋町六ノ一一	杉本直哉	月一同
蒸氣と燃料	昭和十三年九月一日	愛知縣廳工場課	穉山廣胤	年四同
新時	昭和十年十二月十日	東區東長田町二ノ二九	三宅直一郎	月一同
東區報	昭和十年二月二十日	名古屋市東區役所	鹽飽敏夫	月一同
聖	昭和八年十一月三日	西區天神山町三ノ一一八	岩田武二	月一同

豊橋市

【無保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
愛知家禽時報		昭和十一年十月十五日	多米町字野中一ノ五	向坂五郎	月一新
傳道戰線		昭和十二年五月七日	中八町五九	山口徳夫	同

岡崎市

【無保證金】

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
岡崎商報		明治十八年二月二十四日	康生町七三三	加藤松太郎	日刊新
安養		昭和六年四月十五日	魚町四二	太田準悟	月二同
三州織物工業組合月報		昭和九年五月五日	康生町九八番地ノ二	後藤勝次郎	月一新
少年團報		昭和九年六月十日	籠田町百三番地ノ二	萩原舜次郎	同
岡崎市立圖書館々報		昭和九年九月二十五日	岡崎市立圖書館	柴田顯正	隔月二同
東洋美術新報		昭和十一年一月一日	康生町四八番地	福田卯之助	月一同
家庭通信		昭和十二年十一月二十八日	針崎町字東ガンジ四六番地	露口達	同
岡崎市公報		昭和十三年一月二十五日	岡崎市役所	碓井不二郎	月二雜

一宮市

【無保證金】

かみなり		昭和十二年三月二十日	西魚町三十五番地	小幡三郎	月一同
寫友		昭和十三年三月十三日	康生町一一六番地	水越政雄	同

題 號 創刊年月日

發行所所在地

社長又ハ發行人 發行回數形態

森林商報		明治三十七年四月二十日	七間町五ノ一	森林兵衛	月一新
家庭と厚生		昭和十三年十月一日	石野町四ノ一	岩田清茂	月一新

瀬戸市

【無保證金】

題 號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回數形態
瀬戸タイムス	昭和十二年十二月十五日	大字瀬戸三〇八五	北野政次郎	月一新

郡部

【無保證金】

月刊

示	花	親	園	園	修養園愛知縣聯合會聯合會報	養	更	東	長	村	三	一	海	本
の	の	の	新	新	と	生	郷	郷	河	河	河	河	老	之
香	交	交	報	報	化	守	村	村	實	實	實	實	町	式
現	香	交	報	報	山	山	報	報	業	業	業	業	報	道
大正十五年一月五日	昭和三年十一月十五日	昭和四年五月十日	昭和七年八月一日	昭和八年四月五日	昭和八年五月十五日	昭和八年九月一日	昭和九年八月十日	昭和九年八月二十五日	昭和九年九月二十八日	昭和十年一月五日	昭和十年二月十日	昭和十年九月十日	昭和十一年六月十日	昭和十三年五月十日
知多郡豐濱町大字中之浦八四	知多郡有松町大字桶狭間	知多郡有松町大字桶狭間	西春日井郡清州町縣立農事試驗場	碧海郡安城町大字安城字飛越字ノ一	西春日井郡山田村大字比良二二二八	碧海郡安城町大字今字柳原一九	東春日井郡守山町役場	南設樂郡東郷村役場	南設樂郡長篠町大字長篠	南設樂郡鳳來寺村役場	西加茂郡舉母町字舉母字天神	海部郡神守町大字神民五四七	南設樂郡海老町役場	東春日井郡守山町大字小幡
長尾 說道	梶野 磯吉	神谷 庄一	大橋與右衛門	城田 競	山本 英忠	神谷 謙吉	永谷惣三郎	山崎 良平	大岩 芳隆	加藤 淳	織田 廣次	中上 願成	原田 唯一	安田新三郎
月一 雜	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

光	商	安	愛	青	日	富	六	學	青	尾	上	希	曉	松	安
工	城	三	教	の	士	ッ	校	年	州	郷	望	平	時	城	
月	便	學	會	出	松	美	通	月	尾	郷	の	時	報	報	
報	り	生	報	新	村	村	信	報	州	報	窓	雲	報	報	
明	報	新	報	開	報	報	報	報	州	報	報	報	報	報	報
昭和十一年十二月六日	昭和十二年一月一日	昭和十二年六月五日	昭和十一年九月五日	昭和十二年十一月二十五日	昭和十年一月一日	昭和十三年一月一日	昭和十三年一月五日	昭和十三年一月一日	昭和十三年一月十日	昭和十三年一月二十五日	昭和十三年一月五日	昭和十三年一月十日	昭和十三年一月十五日	昭和十三年一月十五日	昭和十三年一月十五日
知多郡内海町大字内海字浦向一〇	南設樂郡新城町字東入船二五	碧海郡安城町大字安城	幡豆郡西尾町大字和泉一〇九	碧海郡安城町大字安城	東春日井郡水野村四〇三	碧海郡富士松村役場	碧海郡六ッ美村役場	南設樂郡新城町	碧海郡六ッ美村	丹羽郡古知野町字穴戸一八	碧海郡上郷村役場	南設樂郡東郷村大字須良字長田二三	東加茂郡足助町大字足助字本町	東加茂郡松平村大字九久平字荒井三	碧海郡安城町農會
鷺津 碩靜	杉浦 治六	森田 淺治郎	齊藤 豐吉	富田 郁太郎	阿知波 萬次郎	塚本 次市郎	野田 仙太郎	本田 九穗	鈴木 秀一	瀧 恒男	岡田 庄松	夏目 寅義	大山 露長	宮川 鏡三郎	竹内 繁慶
年三 同	月一 同	同	月三 同	隔一 雜	月一 新	隔月 同	月一 雜	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

題	號	創刊年月日	發行所所在地	社長又ハ發行人	發行回数形態
盟	報	昭和十三年二月十一日	碧海郡高岡村大字堤字前林北三四	中野半左	月一新
下	山時報	昭和十三年二月十日	東加茂郡下山村大字東大沼字八澤三	吉田宜一	同
ち	と	昭和十三年二月十一日	南設樂郡千郷村教育會	鈴木清一	同
三	河	昭和十三年二月十五日	碧海郡高岡村大字竹字前邸三八	岩月禮一	同
陶	生	昭和十三年二月十一日	東春日井郡水野村大字上水野四〇五	伊藤濱吉	同
會	報	昭和十三年一月一日	碧海郡安城町大字古井字鍋屋町五六	細井甲四郎	同
土	井青年團報	昭和十三年三月一日	碧海郡六ツ美村大字土井駒之舞二五	杉浦新太郎	同
活	青	昭和十三年二月二十日	碧海郡安城町大字福釜	齊藤七郎	同
青	年會報	昭和十三年三月十五日	碧海郡六ツ美村大字野田一六六	加藤清光	隔月一同
新	聲	昭和十三年三月二十五日	碧海郡高岡村大字若林字上ノ山	安田實	同
尾	三新報	昭和十三年五月八日	幡豆郡西尾町大字下町字大道四〇	山田小次郎	月二新
碧	海郡農會報	昭和十三年五月二十七日	幡豆郡農會	神谷八三郎	月一新
副	業之友	昭和十三年六月五日	幡豆郡橫須賀村大字下橫須賀	加藤克己	同
み	か	昭和十三年七月五日	幡豆郡西尾町大字和泉一二六	野村豊次郎	同
上	郷	昭和十三年八月二十五日	碧海郡上郷村大字上野字籬西二	稻垣忠相	同
三	河	昭和十一年十月二十五日	幡豆郡西尾町大字鶴舞一七	水野正次	同

五二

新聞紙法ニ關スル願屆書式

(第一回ノ發行日ヨリ十日以前)

(用紙ハ美濃紙又ハ美濃
露紙ヲ用ヒ二通提出)

新聞紙發行届

- 一、題 號 何々新聞(雜誌又新聞ト括弧ヲ附シテ記載ノコト)
- 一、掲載事項ノ種類 政治、經濟、學術、廣告又ハ何々ノ類
(但シ無保證金ノモノハ學術、技藝、統計、廣告ニ限ル)
- 一、時事ニ關スル事項掲載ノ有無 之ヲ掲載ス(掲載セス)
- 一、發行ノ時期 毎日、又ハ毎月何回(何日、何日、何日、又ハ不定)
- 一、第一回發行ノ年月日 昭和何年何月何日
- 一、發行所 何縣(市)何郡(區)何町村大字何々番地
- 一、印刷所 何縣(市)何郡(區)何町村大字何々番地
- 一、發行人 本籍何縣何郡何町大字何々番地
住所何市何區何町何丁目何番地

五三

何 某

何年何月何日生

- 一、編輯人 同上
- 一、印刷人 同上
- 一、持主 同上

右ハ新聞紙法ヲ遵守シ發行可致候間(保證金何圓(帝國國債又ハ現金)ヲ以テ愛知縣廳へ納メ置キ候)此段及御届候也

昭和何年何月何日

發行 編輯 印刷 持主
 人 人 人 人
 氏 氏 氏 氏
 名 名 名 名
 印 印 印 印

内務大臣 何某殿

(變更ノ日ヨリ十日以前) 二通提出ヲ要ス

新聞紙題號變更届

發行所 何縣(市)何郡(區)何町何番地

一、現在(舊)題號 何々新聞

一、新題號 何々新聞

右ノ通り昭和何年何月何日ヨリ變更可致候間此段及御届候也

昭和何年何月何日

何々新聞發行人 氏 名 印
 同 持主 氏 名 印

内務大臣 何某殿

(變更ノ日ヨリ十日以前) (二通提出ヲ要ス)

新聞紙記載事項ノ種類變更届

題號 何々新聞

發行所 何縣(市)何郡(區)何町何番地

一、現在(舊)記載事項ノ種類 何々……………
 一、新記載事項ノ種類 何々……………
 右之通り昭和何年何月何日ヨリ變更可致候間此段及御届候也
 昭和何年何月何日

何々新聞發行人 氏 名
 同 持主 氏 名

(變更ヨリ十日以前、死亡ノ場合ハ發行人トナリタル日ヨリ七日以内、但シ死亡又ハ本法施行以外ノ海外ヘ一ヶ月以上旅行ノ場合ハ假發行人ヲ定ムルニ非ラサレハ發行スルヲ得ス)

新聞紙發行人變更届 (二通提出ヲ要ス)

題 號 何々新聞
 發行 所 何縣……………

一、現在(舊)發行人 本籍 何縣(市)何郡(區)何町何番地 氏 名
 一、新發行人

住所 何市何區何町何丁目何番地 氏 名

何年何月何日生

右之通り昭和何年何月何日ヨリ變更(可)致候間此段及御届候也
 昭和何年何月何日

現在(舊)發行人 氏 名
 新發行人 氏 名
 持主 氏 名

内務大臣 何某殿

(變更前又ハ變更後七日以内編輯人死亡又ハ本法施行以外ノ海外ヘ一ヶ月以上旅行スルモノハ假編輯人ヲ定ムルニ非ラサレハ發行スルヲ得ス) (二通提出ヲ要ス)

新聞紙編輯人(印刷人、持主)變更届

題 號 何々新聞
 發行 所 何縣(市)何郡(區)……………

一、現在(舊)編輯人(印刷人、持主) 氏 名
一、新編輯人(印刷人、持主) 本籍 何縣何郡何村何字何番地(戶)
住所 何市何區何町何番地 氏 名

右之通り昭和何年何月何日ヨリ變更(可)致候間此段及御届候也
何年何月何日生

昭和何年何月何日

發行人 氏 名
現在(舊)編輯人(印刷人、持主) 氏 名
新編輯人(印刷人持主) 氏 名

內務大臣 何某殿

(變更前又ハ變更後七日以内) (二通提出ヲ要ス)

新聞紙發行期日變更届

題 號 何々新聞
發行所 何縣(市).....

一、現在(舊)發行期日 月何回 何日何日(又ハ日刊、不定)
一、新發行期日 月何回 何日何日(又ハ日刊、不定)

右之通り昭和何年何月何日ヨリ變更致候ニ付此段及御届候也
昭和何年何月何日

發行人 氏 名
持主 氏 名

內務大臣 何某殿

(變更前又ハ變更後七日以内) (二通提出ヲ要ス)

新聞紙發行所(印刷所)變更届

題 號 何々新聞

一、現在(舊)發行所(印刷所)何市何區何町何丁目何番地 何々新聞社(何々印刷所)
一、新發行所(印刷所)何縣(府)何郡(區)何町村何番地 何々新聞社(何々印刷所)

右之通り昭和何年何月何日ヨリ變更(可)致候間此段及御届候也
昭和何年何月何日

内務大臣 何某殿

新聞紙發行人住所變更届

發行所 何々新聞

一、現在(舊)住所 何縣(市)……………
何市郡(區)何町(村)何丁目何番地

一、新住所 何縣(市)……………
何市郡(區)何町(村)何丁目何番地

右之通り昭和年月日ヨリ變更致候ニ付此段及御届候也
昭和何年何月何日

發行人 何某氏
持主人 何某氏
名 名
印 印

發行人 何某氏
持主人 何某氏
名 名
印 印

内務大臣 何某殿

(編輯人、印刷人、持主ノ住所變更ノ場合モ做之)

新聞紙發行廢止届 (二通提出ヲ要ス)

發行所 何縣(市)……………
有(無)保證金

一、題號 何々新聞 日刊又ハ月何回發行

右ハ新聞紙法ニ依リ發行ノモノニ有之候處昭和何年何月何日發行ヲ廢止候ニ付此段及御届候也

昭和何年何月何日

内務大臣 何某殿

新聞紙發行休止届 (二通提出ヲ要ス)

題號 何々

發行人 何某氏
持主人 何某氏
名 名
印 印

發行所 名古屋市何區何町何丁目何番地

何々社

一、現在發行期日 毎月何回 (何日、何日)

一、發行休止月日 昭和何年 月 日

右之通り發行休止(可)致候ニ付此段及届出候也

昭和 年 月 日

内務大臣 何某殿

持 發 行 人 氏 氏
主 人 氏 氏
名 名
名 名

新聞紙發行保證金納付書 (二通提出ヲ要ス)

一、題 號 何々新聞

此保證金

一、何々公債證書額面何千百圓 (帝國公債、帝國國債又ハ現金ヲ以テ納入ノコト)

此內譯

一、何々公債何百圓券 何號 何番

一、同 上 同 何番

右ハ新聞紙法ニ依リ發行ノ何々新聞ノ保證金ニ充テ相納メ度納付書如斯ニ候也

昭和何年何月何日

何々新聞發行人

原籍.....
住所.....
氏

生 年 月 日 名 氏

同 持主

原籍.....
住所.....
氏

生 年 月 日 名 氏

愛知縣知事 何某殿

何々新聞保證金拂戻請求書 (二通提出ヲ要ス)

一、何々公債證書額面 何百圓

右ハ何々新聞發行保證金ニ充當ノ爲メ日本銀行名古屋支店受託證書ヲ以テ愛知縣出納官吏ヘ納メ置キ候處同新聞ハ昭和何年何月何日廢刊候ニ付前記有價證券御拂戻相成度此段及請求候也
昭和何年何月何日

何々新聞發行人

原籍.....

住所.....

氏

生年月日 名 印

同 持主

原籍.....

住所.....

氏

生年月日 名 印

愛知縣知事 何 某 殿

新聞紙保證金納付替申請書

(二通提出ヲ要ス)

一、題 號 何々新聞

一、既納保證金ニシテ拂戻請求ノ分

帝國公債證書額面 何百圓也

一、今回新クニ納付可致分

帝國公債證書額面 何百圓也

內譯 帝國公債何分利付何號 何番

帝國公債何分利付何號 何番

右ハ何々新聞保證金代用國債證券前記ノ通り納付替相成度申請候也

昭和何年何月何日

右發行人

住 所 何市何區何町何丁目何番地

氏

年 月 日 名 印 生

持主

住所 何縣(市)何郡(市)何町(村)何番地

氏

名

年 月 日 生

愛知縣知事 何 某 殿

注意 (以上ノ届書ハ總テ愛知縣廳警察部特高課檢閱係ニ提出スルモノトス)

新聞紙納本ニ就テノ注意

◎新聞紙法ニ據リ發行スルモノハ發行ト同時ニ左記ニ納本ヲ要ス

- 一、内務省警保局圖書課 二部
- 一、愛知縣警察部特高課檢閱係 一部 (出來得レハ二部)
- 一、名古屋地方裁判所檢事局 一部
- 一、管轄區裁判所檢事局 一部
- 一、所轄警察署 一部



經一寸 (但シ無保證金ノモノニア
リテハ有テ無トスルコト)

出版法ニ關スル願届書式

出版法ニ據リ發行スルモノハ發行ノ日ヨリ到着スベキ日數ヲ除キ三日前ニ製本二部ヲ添へ内務省ニ届書ニ通提出ヲ要ス。尙出版届ニ添付スヘキ製本及其ノ包装ニハ表面見易キ場所ニ「納本」ト記載スルコト

一、雜誌以外ノ文書圖書ヲ發行スル場合

- 出版 届
- 一、文書圖書ノ題號 全何 冊(全何枚)

- 二、著作ノ種類(例へハ著述、翻譯、編纂又ハ演說若ハ講義ノ筆記)
 - 三、著作者ノ氏名及住所
 - 四、翻譯物又ハ編纂物ニ在リテハ原著作物又ハ各部著作ノ題號及著作ノ氏名演說若ハ講義ノ筆記ニ在リテハ演說者若ハ講義者ノ氏名
 - 五、發行所ノ名稱及所在地
 - 六、印刷所ノ名稱及所在地
 - 七、發行年月日(再版届ノ場合ニ在リテハ發行年月日ノ外仍初版發行ノ年月日ヲモ記載スヘシ)
 - 八、豫約出版物ニ在リテハ豫約出版法第二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル旨及其ノ届出年月日
- 右發行致候間出版法第三條ノ規定ニ準據シ製本二部相添へ及届出候也



内務大臣 何某殿

年 月 日

住 所 發行者 氏 名 印

住 所 著作權者 氏 名 印

本様式中著作權者ノ連署ニ代ヘ左ノ様式ニ依リ出版承諾書ヲ添附スルモ差支ナシ

出版承諾書

- 一、文書圖畫ノ題號 全何冊(全何枚)
- 二、著作者ノ氏名

右著作物ヲ何某(何會社)ニ出版スルコトヲ承諾致候也

年 月 日 住 所 著作權者 氏 名 印

二、雜誌ヲ發行スル場合

雜誌 出版 届

- 一、雜誌ノ題號 第何卷第何號
- 二、掲載記事ノ種類 (例へハ學術、技藝、統計、廣告)
- 三、發行時期 (例へハ月一回發行、毎月一日發行)
- 四、編輯者ノ氏名住所

五、發行所ノ名稱及所在地
 六、印刷所ノ名稱及所在地
 七、發行年月日（再版届ノ場合ニ在リテハ、發行年月日ノ外仍初版發行ノ年月日ヲモ記載スヘシ）
 右ハ專ラ（學術、技藝、統計、廣告）ニ關スル記事ノミヲ掲載スルヲ以テ出版法ニ依リ發行致候間
 同法第三條ノ規定ニ準據シ製本二部相添ヘ及届出候也

年 月 日

住 所
 發行者 氏 名印
 住 所
 編輯者 氏 名印

内務大臣 何某殿

出版法第十條第一項但書ノ規定ニ依リ雜誌ノ出版手續省略ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ様式ニ依ル
 願書ニ通ヲ内務大臣ニ差出スコト

雜誌出版手續省略願

一、雜誌ノ題號
 二、發行所ノ名稱及所在地
 右ハ出版法ニ依リ發行致候處第何卷第何號ヨリ發行ノ都度届出ノ手續ヲ省略シ製本二本ノミ相納候
 様致度及願出候也

年 月 日

住 所
 發行者 氏 名印
 住 所
 編輯者 氏 名印

内務大臣 何某殿

出版法第十條第一項但書ノ規定ニ依リ雜誌ノ出版手續省略ノ許可ヲ受ケタルトキハ發行ノ都度届書ヲ
 差出スコトヲ要セスト雖モ第一條第二條ノ届出事項ヲ變更シタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ各列記事項ヲ
 記載シタル届書ニ通ヲ内務大臣ニ差出スコト
 一、題號ヲ變更スル場合

雜誌改題屆

- 一、舊題號
 - 二、新題號
 - 三、發行所ノ名稱及所在地
 - 四、出版手續省略ノ許可年月日
- 右年月日又ハ第何卷第何號ヨリ改題候間及届出候也

年 月 日

住 所

發行者 氏

名 印

住 所

編輯者 氏

名 印

內務大臣何某殿

- 二、掲載記事ノ種類編輯者、發行時期、發行所又ハ印刷所ヲ變更スル場合

雜誌掲載記事

(編輯者、發行時期、發行所、印刷所)

變 更 屆

- 一、雜誌ノ題號
 - 二、發行所ノ名稱及所在地
 - 三、現在ノ掲載記事ノ種類 (編輯者、發行時期、發行所、印刷所)
 - 四、變更ノ掲載記事ノ種類 (編輯者、發行時期、發行所、印刷所)
 - 五、出版手續省略ノ許可年月日
- 右年月日(又ハ第何卷第何號)ヨリ變更致候間及届出候也

年 月 日

住 所

發行者 氏

名 印

住 所

編輯者 氏

名 印

內務大臣何某殿

豫約出版法ニ關スル願届書式

(第一號書式)

豫約出版届 (豫約着手十日前二通)

一、題 號

二、發行ノ年月日 (順次發行ノ場合ハ其起〇並ニ〇定)

三、著作者ノ氏名

四、内容製本紙數ノ概要

五、豫約定價及代金前收方法

六、發行所及名稱

七、發行者ノ氏名生年月日

右ハ 年 月 日ヨリ豫約手續ニ着手致候ニ付保證金 圓愛知縣廳ニ納メ置候條此段及御届候也

住 所

(第二號書式)

内務大臣何某殿

發行者 氏 名 團

豫約出版届出事項變更願

一、舊 事 項

二、新 事 項

右ハ何々ノ事由ニ由リ變更致度候ニ付御許可相成度此段及御願候也

年 月 日

住 所

發行者 氏 名 團

内務大臣何某殿

(第三號書式)

履 行 届

一、題 號

右ハ 年 月 日ヨリ豫約手續ニ着手致 年 月 日豫約者何名ニ對シ完全ニ義務ヲ履行仕リ候條
此段及御届候也

年 月 日

住 所

發行者 氏

名 團

内務大臣何某殿

(第四號書式)

廢 絶 願 (願書一通)

一、題 號

右ハ 年 月 日豫約手續ニ着手候處今回何々ノ事由ニ依リ廢絶致度候特別ノ御詮議ヲ以テ御許可
相成度別紙何々(寫)添付此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏

名 團

内務大臣何某殿

發行者 氏

名 團

第三種郵便物認可申請ニ關スル願届書式

第三種郵便物認可申請(差出郵便局經由
差出スモノトス)

一、題 號

二、掲載事項ノ種類

三、發 行 人

四、發行ノ定日

五、發行人ノ居所

六、發行所ノ所在及名稱

七、差出郵便局

右昭和何年何月何日ヨリ第三種郵便物ノ認可相成度見本何月間發行ノモノ各二部相添及申請候也
昭和 年 月 日

名古屋遞信局長宛

右發行人 氏

名 ㊦

(差出) 局經由 (朱記)

題號變更申請

何年何月何日第三種郵便物認可

一、題號 新舊

右之通り變更致度候間認可相成度候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 ㊦

名古屋遞信局長宛

(差出) 局經由 (朱記)

掲載事項變更申請

何年何月何日第三種郵便物認可

題號

一、掲載事項 新舊

右之通り變更致度候間認可相成度候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 ㊦

名古屋遞信局長宛

(差出) 局經由 (朱記)

發行人變更申請

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、發行人 新 舊

右之通り變更致度候間認可相成度候

昭和 年 月 日

右

新發行人

氏居 名所

印

舊發行人

氏居 名所

印

名古屋遞信局長宛

(注意 舊發行人連署スルコト能ワサルトキハ其ノ事由ヲ記載スルコト)

(差出) 局經由 (朱記)

發行 定 日 變 更 屆

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、新發行 定 日

二、舊發行 定 日

右之通り何月分(又ハ何月何日)ヨリ變更致候

昭和 年 月 日

右

發行人

氏

名 印

名古屋遞信局長宛

(差出) 局經由 (朱記)

發行 定 日 臨 時 變 更 屆

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、發行 番 號

右何月何日發行スヘキ處何月何日ニ變更致候

(又ハ何月何日臨時發行致候)

昭和 年 月 日

名古屋遞信局長宛

右

發行人 氏

名 ㊦

(注意 發行日臨時變更ハ翌月及次ノ發行日ニ涉ルコトヲ得ス)

(差出) 局經由 (朱記)

發行人居所又ハ氏名變更届

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、新居所又ハ氏名

二、舊居所又ハ氏名

右ノ通り何月何日ヨリ變更致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 ㊦

(注意 氏名變更ハ改氏名ニ依ルトキ)

名古屋遞信局長宛

(差出) 局經由 (朱記)

發行所變更届

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、新發行所 所在又ハ名稱

二、舊發行所 所在又ハ名稱

右ノ通り何月何日ヨリ變更致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 ㊦

名古屋遞信局長宛

(舊差出) 局經由 (朱記)

差出郵便局變更届

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、新差出郵便局

二、舊差出郵便局

右之通り何月何日發行第何號ヨリ變更致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 印

名古屋遞信局長宛

(注意 本届書提出ノ場合ハ最近發行ノ見本二部添付ノコト)

(差出)局經由

廢 刊 届

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

右ハ何月何日發行第何號限リ廢刊致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 印

名古屋遞信局長宛

(差出)局經由 (朱記)

休 刊 届

何年何月何日第三種郵便物認可

題 號

一、發行番號

右何月何日發行スヘキ處(又ハ何月何日ヨリ何日迄發行ノ分)休刊致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 印

名古屋逓信局長宛

(差出) 局經由 (朱記)

發行禁止届

何年何月何日第三種郵便物許可
題 號

一、禁止ノ事由

右ハ何月何日第何號限リ發行禁止處分ヲ相受候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 印

名古屋逓信局長宛

(舊差出局及舊) 局經由 (朱記)
所轄逓信局名

發行所變更届

何年何月何日第三種郵便物認可
題 號

一、新發行所 所在

二、舊發行所 所在

三、新差出局

四、舊差出局

右之通り何月何日ヨリ變更致候

昭和 年 月 日

右

發行人 氏

名 印

(新所轄) 局長宛

(注意) 21、本届書ハ發行所ヲ他ノ逓信局管内ヘ移轉シタルトキ提出スヘキモノトス
2、本届書提出ノ場合ハ最近發行ノ見本ニ部添付ノコト

注 意 事 項

- 一、各種商品ノ説明、定價附、其ノ他營業上ノ趣意書等一個人又ハ會社若ハ數家聯合ノ廣告ヲ主タル目的トスルモノ及廣告ノ掲載部分多キモノハ公共ノ性質ヲ有スルモノト認メザルコト
- 二、各種會報、會誌、社報等團體ノ機關誌ニシテ各種團體内ノ消息意見等ヲ其ノ團體内ニ報告交換スルヲ主タル目的トスルモノハ報道又ハ論議スル性質ヲ有スルモノト認メザルコト
- 三、定價ヲ附スルモ事實發賣ノ形跡ナキモノ又ハ當初ヨリ廣告用トシテ得意先又ハ公衆ニ配付スルヲ目的トシテ發行スルモノハ汎ク公衆ニ發賣スル性質ヲ有スルモノト認メザルコト
- 四、第三種郵便物認可ノ手数料トシテ納付スヘキ郵便切手ハ可成高額ノモノヲ使用セラレタシ
- 五、差出郵便局ハ發行地所轄逓信局管内ニ在ル郵便局ノ一局ニ限ルモノトス
- 六、定期刊行物ニ印刷スヘキ第三種郵便物認可年月日ハ認可書ノ日附ニ依ルモノトス
- 七、第三種郵便物認可ノ題號以外ニ特別ノ名稱ヲ附スル場合ハ其ノ字格ガ本題號ヨリ小ニシテ且認可ノ題號ト紛ラハシカラザルコトヲ要ス
- 八、發行日以前ニ郵便ニ差出ス定期刊行物ハ印刷又ハ納本月日ヲ發行月日ト看做シ取扱フモノニ付印刷又ハ納本月日ヲ明瞭ニ印刷シ納本日以後ニ差出スコト
- 九、定期刊行物ノ題號ヲ左ノ如ク變更シタル場合ニ於テモ題號變更申請書ヲ逓信局長ニ提出シ認可ヲ

受クルコトヲ要ス

舊題號

一、X Y

一、浮 城

新題號

ゑつくすわい

ウキシロ

- 十、定期刊行物ノ發行人ガ法人ナル場合ニ於テ其ノ代表者ニ異動アリタルトキハ三日内ニ發行人變更届書ヲ逓信局長ニ提出スルコト
- 十一、定期刊行物ノ號外及再版ハ發行回數ニ算入セザルモノトス
- 十二、休刊又ハ定日臨時變更等ノ届出ノ有無ニ不拘最近發行ノ次ノ定日ヨリ一月内ニ發行セザルトキ又ハ最近一年間日刊ノモノニ付テハ六月間ニ發行スヘキ回數ノ四分ノ一休刊シタルトキハ第三種郵便物認可ノ效力ハ自然失効ス
- 十三、定期刊行物ノ附録ヲ本紙ニ添附セザルモノハ第三種郵便物トシテ差出シ得ス
- 十四、定期刊行物ヲ郵便ニ差出ストキ帯紙ヲ使用スルトキハ幅八センチメートル以上ノ強靱ナル紙ヲ使用スルコト
- 十五、定期刊行物ノ見本ヲ差出ストキ當局宛ハ「名古屋逓信局監督課」トシ、差出局宛ハ「何郵便局」ト記載ノ外「見本」ノ文字ヲ朱記スルコト

新愛知	二二
名古屋新聞	二四
名古屋每日新聞	二六
愛知新聞	二八
名古屋通信	三〇
名古屋夕刊新聞	三二
名古屋經濟新聞	三四
材木新聞	三六
中外通信	三八
中外商業新報	四〇
商工興信所日報	四二
小型日刊	四四
昭和每夕新聞	四六
產業之日本	四八
名古屋綿絲布日報	五〇

養鷄之日本	二〇
日刊陶磁界新報	二二
日滿工業新聞	二三
大阪名古屋木材新聞	二四
中央飲食料品新聞	二五
尾州新聞	二六
株式界線日報	二七
人物展望	二八
東洋經濟	二九
大亞細亞	三〇

新聞・通信・雜誌
介紹
(順序不同)

極東	二八
電華	二九
中京財界散步	三〇
人民新聞	三一
中京自動車界	三二
中央市場新聞	三三
鷄友	三四
生活線	三五
浴場新聞	三六
商工情報	三七
帝國菓子館新聞	三八
躍進時代	三九
東海經濟	四〇
商工經濟新聞	四一
三河報知新聞	四二
黨業新聞	四三

新愛知新聞社 主腦部
國民新聞社



社長
大島吉氏



支配人
大島一郎氏



主幹
中田齊氏



營業局長
岡田三郎氏



日本一を

目指して

一大新聞の

合流!

所在地

名古屋市西區御幸本町通

新愛知新聞社

電話代表本局②三一九一番

東京市京橋區銀座

國民新聞社

電話代表銀座七〇番



【沿革及最近社況】 わが新愛知は明治二十一年七月五日名古屋市東區宮町に孤々の聲を揚ぐ、當時大に自由民権を唱へしを以て官憲の忌諱に觸れ發行停止一再ならずと雖も嚴に主義主張を曲げず、應變隨機發奮努力以て堅實なる發展をなす。明治二十二年本社を現在地に新築移轉し、同二十九年合資會社に組織を改め社礎の鞏固を圖ると共に當時紙面僅か四頁なりしを三十一年五月六頁に、三十五年八月八頁に改め、次で朝刊夕刊各地方附録を合し十六頁に増大す。斯くして社運愈々隆盛社屋の建築或は増設を圖り紙面は増紙を重ね尙數年を出でず新社屋の狹隘印刷能力の不足を告ぐ、時恰も紙齡一萬五千號を迎へ祝意又新なるものあり東接數百坪を買收鐵筋三階層の新講堂を増設、更に電動式高速度輪轉機の増加を執行し現に七臺を動かすも尙印刷能力に不足を告ぐる有様であり、一方帝都に進出して國民新聞を併營する等今や新愛知の邁進は業界最高の記録を示すに至れり。

名古屋新聞社主脳部



主 筆
小林橋川氏



重役會長
小松山壽氏



社 長
森 一 氏



工務部長
山本周二氏



編輯部長
三田儀雄氏



專務理事
大宮三郎氏

名古屋新聞

名古屋市千早通り

名古屋新聞社

代表電話中局③二一五一番

東京支局 京橋區銀座四丁目

大阪支局 東區伏見町四丁目

【沿革及最近社況】 本紙は現衆議院議長小山松壽氏が明治三十九年十一月元「中京新報」を改題して「名古屋新聞」となしたるに始まる。これ本市に於ける輪轉機印刷の嚆矢とす。加ふるに當時名古屋の諸新聞は何れも桃色ザラ紙を使用し來りしに、これを白色に改め且つ率先してポイント活字になしたるため、新聞界に俄然として耳目をそばだて聲價一時に高きをいたしたり。その後頁數を次第に増加し現在十六頁しかも各地に地方附録を刊行し今やその數十七に達して最近數年間の躍進的發展は驚くべきものあり。時勢の進運と共に本紙の聲價と信用とは名古屋市内は絶對的にして名古屋市民の購讀する全新聞總數の三分の二を占めその勢威は延びて愛知、岐阜、三重縣下を風靡し急速力を以て静岡、長野、滋賀諸縣に及び京都、福井、石川、富山、新潟、奈良、和歌山、山梨、神奈川をも席捲し、中央日本に於ける言論界のオーソリチーたるは自他共にこれを認むるところとす。

昭和十二年は、十二月四日本紙創刊一萬五千號の記念日を迎へ、半世紀に亘る陸々の躍進を祝福し、且つ將來の飛躍のテンポを劃する歴史的な行事があつた。更に本社事業部の活躍目覺しく産業界に一般社會文化に或は体育界に美術界に有ゆる施設を動員して社會的事業を敢行し一般世人の感謝の的となつてゐる。尙本社と姉妹關係にある財團法人名古屋新聞社善行會は専ら社會事業方面に異常の活躍を示してゐる。

名古屋毎日新聞社主脳部



監査役編輯長
小塚 健三 氏



取締役總務兼主筆
興津 吉文 氏



社長
野村 浩司 氏



監査役經濟部長
松田 昇一 氏



取締役支配人
坂野 鎌次郎 氏

夕刊 名古屋毎日新聞

時代の要求に適應する建前の下に從來の朝刊を夕刊に改めて、面目を一新し、専ら報道の敏速と記事の正確に最善の努力を拂ひ、斯界稀有の一大發展を遂げるに至つた。而して嚴正公平を以て本領とする政治記事と、適確なる觀察速報を以て鳴る經濟ニュースと、社會記事の機敏なる行動に因る破邪顯正の明鏡振りは、本紙獨特の情趣に富める演藝、娯樂、花柳記事と共に定評があり、正實なる輿論機關としてあらゆる階級に歡迎せられ、其の隆々たる勢力は他の追隨を許さざるものがある。

尙ほ本社は各種出版事業をも營み中京名士録、愛知縣銀行會社總覽、中京名鑑、中京華道大鑑、愛知縣會社總覽等を發行して頗る好評を博し、一面各種事業をも計劃實行しつゝあり、即ち愛知縣工場スポーツ聯盟を結成して各種競技大會を催して体位の向上に資し中京華道聯盟、名古屋舞踊聯盟を組織して斯道を奨勵し、また昨十二年七月支那事變勃發するや、率先して名古屋市公會堂に皇軍武運長久祈願式並に暴支膺懲市民大會を開催し、義憤に燃ゆる國民の熱烈なる氣勢を揚げ、爾來銃後の熱誠を披瀝するを怠らず、本年五月躍進海軍展覽會を開催して軍事思想の普及と國民精神の作興に努むる等只管文化の伸長に貢献すべく努力し、常に舉社一致、發刺たる意氣を以て新聞報國に邁進してゐる。

【沿革及最近社況】本紙は明治九年八月「愛知日報」と題して創刊せられ、後「繪入扶桑新報」「扶桑繪入新聞」「扶桑新聞」と變遷し、更に大正四年七月「名古屋毎日新聞」と改題して今日に及び、創業以來實に六十有餘年、東海最古の歴史を有する新聞である。大正十五年二月株式組織に變更して内外業務の刷新を行ひ、

名古屋市中區新榮町
三丁目三十八番地
株式會社 名古屋毎日新聞社
電話代表中三二五〇番
東京市赤坂區福吉町一番地
電話赤坂三七八七番
大阪市東淀川區國大町二四七
電話北四〇一八番

愛知新聞

商業登記掲載紙の随一

【沿革現況】 我名古屋市に於ける夕刊発行の嚆矢とする愛知新聞は明治三十三年三月十三日創刊に係り、紙齡既に一萬三千號を突破し中京操觚界の一異彩として存在を強調して居る。本紙は舊自由黨の闘士として雄名一世に高かつた故内藤魯一翁が東海自由黨の機關紙として東海自由新聞と號して創設したもので、其後大正四年十月より續木壽三郎氏の經營するに至り現在の愛知新聞と改題して、夕刊を發行同時に輪轉機を据え付け、鑄造、寫眞版其他諸設備を完備せしが更に其後昭和十一年十二月現社長山内長幹氏の經營に歸するや内容の充實と紙面の刷新を圖ると共に頒布區域も大いに擴大され本紙の面目一新し、今日の勢威を示すに至つた。因に現社長山内氏は多年名古屋新聞經濟部長として手腕と聲名を轟はれてゐた人である。

八ノ六リ通津大南區中市屋古名

社 聞 新 知 愛 所 行 發

番一七・〇七③局中表代話電

【 局 支 地 各 】

知多中一岩津西瀨犬四岡豐岐大濱大東
治津ノ日
多見川宮倉島尾戶山市崎橋阜垣松阪京

全 國 新 聞 其 他 一 般 廣 告 取 扱 名 古 屋 通 信 社



本邦最古の歴史!

絶大の信用!

懇切・迅速!

製 作

寫眞版・組版

圖案・凸版・鉛版

創 業 明 治 廿 年

日 刊 名 古 屋 通 信 社 發 行

名 古 屋 中 市 新 區 榮 二 町
電 中 五 五 六 五 七 五 八 五
支 社 朝 日 比 呂 支 局 岐 阜 津

【沿革及現況】 本紙はわが名古屋に於ける操觚界の雄、春日井豊氏の獨力の經營に成る。大正四年五月關西魁新聞と題し發刊、爾來一途我中京操觚界に日刊の存在を強調してゐる。大正十五年九月題號を現稱に改め今日に至る。

名古屋夕刊新聞

發行所

名古屋市昭和區穗波通り二丁目二十八番地

名古屋夕刊新聞社

社長 春日井 豊
編輯長 池上 實

名古屋經濟新聞

【刊 日】

【現勢】 中京財界の巨頭株式證券の取引を以て全國に覇を鳴らす後藤新十郎氏の經營にかゝり豊富なる經濟力と取引關係の廣汎なるに任せて、本紙は其營業機關紙として擴く業界に頒布せられ、經濟新聞中本縣唯一の勢力を有す。因に昭和七年七月先代後藤新十郎氏急逝するや令息幸平氏襲名、現に後藤證券株式會社の社長として本紙亦同氏の經營する所なり。

- 發行所 名古屋市中區住吉町一ノ十
- 社 名 名古屋經濟新聞社
- 創 刊 大正九年十二月十八日
- 發行回数 日刊(日曜、祭日、休刊)
- 社 長 後藤 新十郎
- 編輯主任 平野 丈夫
- 發行人 村上 庄太郎

扱取門專告廣聞新外内



(呈送書内案)

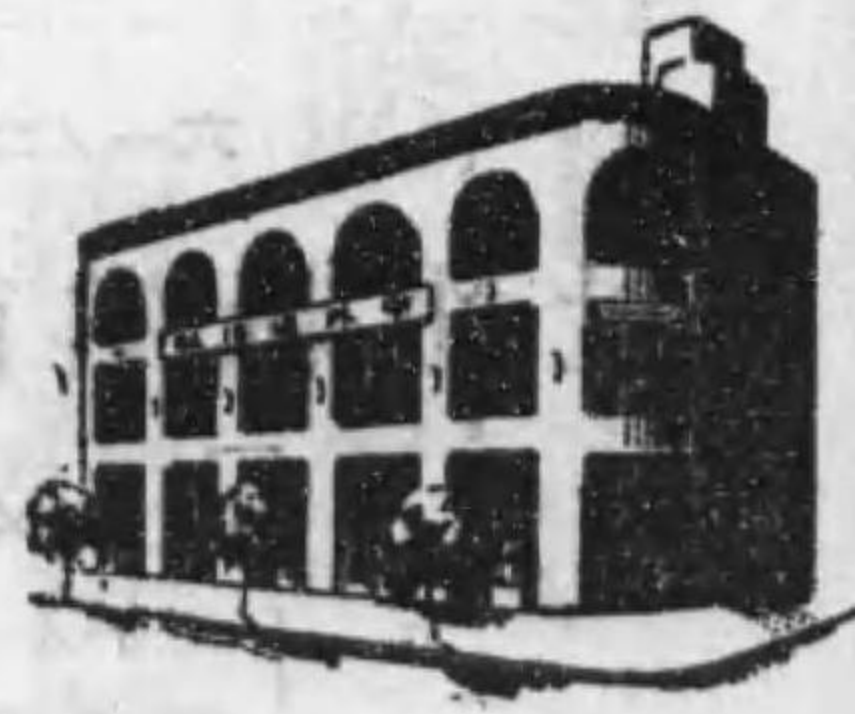
業理代告廣



聞新諸外内

郎太幸藤伊 長社

角町本路小廣市屏古名
番〇九七二③中話電
番四五八一(種千)用間夜
番八八七九屋古召替振



日本材木新聞

【本社の沿革及現況】 本紙は大正三年九月十日の創刊に係り本邦唯一の木材關係日刊紙たり。初め市内中區西川端町に於て月刊として發刊、漸次月二回とし更に三回、週刊とし大正十二年三月十四日より日刊として今日に至る。現在大阪に營業所を置き、樺太、北海道、東京、清水、

廣島、九州、朝鮮、滿洲の各都市に支局を置き其他各主要木材市場には夫々通信員を配置し、積極主義により勇往邁進販賣紙數の増加に努め今日の偉大なる發展を見るに至る。購讀者の範圍は日本内地、樺太、北海道臺灣は勿論朝鮮、滿洲、南洋諸島、米國等に及ぶ。

編輯長	社長	政派關係	組織	發行回数	記事内容	年創立	社名	營業所	發行所
神戶	神野	不偏不黨	個人經營	日刊(日曜、祭日翌日休刊)	政治、經濟、時事、木材、建築、海運其他萬般の事情	大正參年九月十日	日刊 日本材木新聞社	大阪市大正區千鳥町一〇五	名古屋市中川區西古渡町柳田六〇番地

中外商業新報



名古屋支局長
關戶圓次郎氏

中外商報新報は明治九年創刊以來星霜こゝに五十年、徹頭徹尾經濟を中心としてわが國際經濟的發展に貢獻し來つた。本紙は商工業の新興都市我が中京名古屋に大正十一年九月支局を開設し其經濟報導に力を盡し中部日本第一の經濟界の據るべき唯一の指針頼るべき無二の伴侶として推獎されるに至り、讀者層も擴大され我が名古屋支局の存在も斯界に燦然たるものがある。

東京市本橋區茅場二ノ六一

發行所 株式會社 中外商業新報社

名古屋支局

名古屋市東區神樂一ノ五一
電話 ④一四三五番
支局長宅東 ④七五二〇番

10E

(日刊)

商興信所日報

▽社長 市川矢三治氏 △



(旬刊)

紙業新報

堅陣を
誇る

兩紙併營

發行所

名古屋市中區西境町三ノ二五
電話 中局 ③三〇二四番
振替名古屋三一二〇三番

一〇五

多年の信望厚く日刊に飛躍以來今
や特異の存在として既に確固たる
地盤を築く！

(料購購紙本)
一部 二錢
一ヶ月 五十錢
一ヶ年 五圓
(料告廣紙本)
一回 三圓以上
百圓迄

小型日刊

名古屋市東區添地町二十一番地

言論報國社

創刊 昭和二年六月五日
第三種郵便物認可 昭和二年七月二日

電話東④六十三番
振替口座名古屋三五三六〇番
主幹 市原永三

政治經濟社會百般の透徹鋭き論調

日刊

昭和毎日新聞

發行所

名古屋港區港本町六丁目一番地
電話菜地④五三〇一
振替口座名古屋一二五九六番
昭和十五年六月二日新開社
大正十五年四月二十日
昭和五年四月二十日
日刊(夕刊)四頁年三回の
外無休
昭和十三年十二月一日現
在第四千二百四十八號
個人經營
政治、經濟、時事、船舶
出入統計其他社會百般の
現象
嚴正獨立



坂章司氏

社長

坂

號

章

司

編輯部長 相馬昌二
營業部長 加藤鈴一

【沿革】大正十五年六月二日の創刊に係り、昭和五年四月二十日改題名古屋南部唯一の日刊言論紙として嚴正公平如實に事物を觀察評價す、昭和六年五月九日名古屋港の船舶出入統計機關紙港灣日報を合併し一切を繼承す、南部郷土カラーを鮮明に報導日刊新聞として異常なる發展を遂げ專屬新聞印刷工場を設け中川南、熱田各區の數ヶ所に支局を設置且亦名古屋港の出入船舶の毎日の船名、貨物仕出港、仕向港、貿易狀況等を夕刊を以て詳細に報導し、貿易關係業者の必須の新聞として好評を博し、又特色を持つ名古屋市南部方面唯一の言論紙として輝かしき將來を約束されてゐる

中 日 部 本 然 燦 然 覇 王 存 在

産 業 之 日 本

時 局 の 眞 只 中 に

飛 込 ん で

論 破 す る 政 治

經 濟 雜 誌

△ 社 長 深 富 見 雄 ▽

所 行 發

産 業 之 日 本 社

名 古 屋 市 中 區 中 之 町 三 三 階 二 階

電 話 南 〇 八 五 一 三 八 二 番

東 京 支 局 東 京 市 麴 町 區 幸 一 町 三 大 阪 〇 六 一 一 室

電 話 銀 座 自 〇 一 八 五 至 一 五 八 九 番



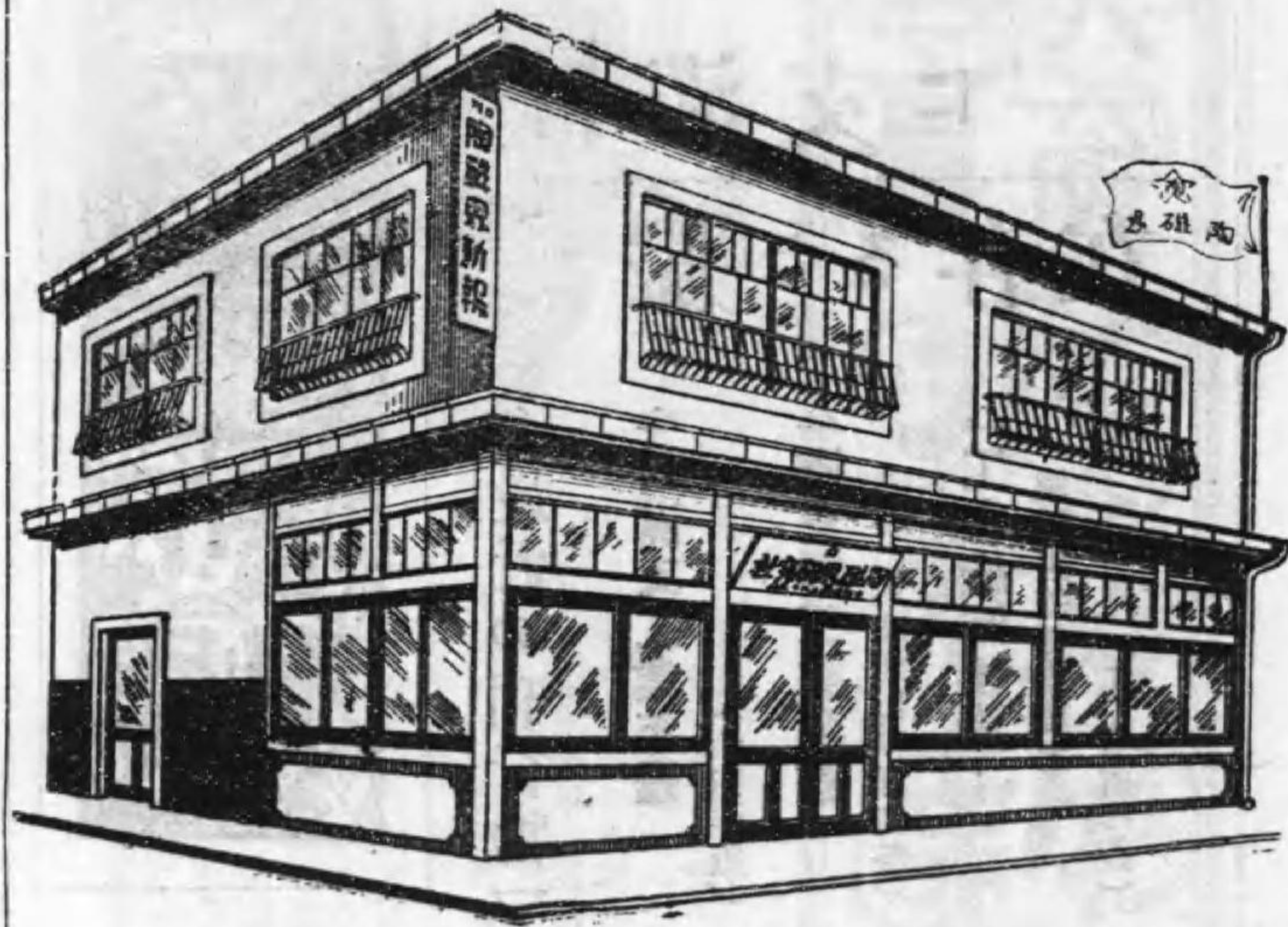
編 輯 長 早 川 鮎 之 助 氏

名 古 屋 綿 絲 布 日 報

名 古 屋 市 中 區 中 之 町 三 三 三
名 古 屋 綿 絲 布 日 報 社
電 話 本 局 〇 五 〇 四 番
振 替 〇 座 名 古 屋 八 三 八 三 番

【沿革及現勢】 本紙は大正十一年九月一日名古屋綿絲
布取引所立會開始と共に産聲を揚げた機關紙にして爾來
我が綿糸業界の爲めに貢献し今日に至り、其の勢力は市
内を初め縣下一圓並に大阪、濱松、上海等に及ぶ。
當社は現愛知新聞社長山内長幹氏の兼營にかゝるもの
で編輯長早川鮎之助氏は正義觀念頗る強き士なるも同紙
が機關紙なる爲め世の不平不満に對して充分快刀を振ひ
得ざる憾みあり、併し氏の擔任する綿糸相場に就ての強
弱論は諸新聞の比較的不鮮明曖昧なるに反し生一本旗色
全く鮮明なるを以て特異とする。

刷印と版出



報新界磁陶 日刊

秋芳森大幸主

社究研界磁陶

二ノ二町川徳區東市屋古名
 番五七六三④局東話電
 番七五〇三二屋古名替振
 號五七局東屋古名函書私

◁紙關機大三界鷄▷

名古屋飼料通信

日本家禽新聞

養鷄之日本

第次越申本見
 呈贈代無

所行發

社本日之鷄養

前停電子瀧區和昭市屋古名

番二一四一⑦德瑞話電
 番九三八一屋古沼替振

一一一

一一〇



大坂 名古屋 木材新聞社副社長
 木材興信所社長 辻 喜輝氏

【刊 日】

大坂 名古屋 木材新聞

本紙は明治末期の創刊にかゝり、今や三十年を迎へんとする本邦木材界に於ける最古の機關紙である。言論界多年の懸案であつた斯界に對する公正なる批判と業界發展に寄與する強力なる言論機關の出現を待望されてゐた折柄、本紙は偶々本年十一月國內有力新聞七社を買収大合同が行はれて一大飛躍を試むこととなつた。現在須布網は國內全土を初め、滿洲國、支那、南洋諸島、米國等に鞏固な讀者層を有し今後一層の發展を見るべく注目されてゐる。因に副社長辻喜輝氏は名古屋支社に在任活躍されてゐる。

本社 大坂市大正區正大通一ノ二五尾ル内
 大坂 名古屋 木材新聞社
 電話三九三〇一・一〇九三・四二二・二五番
 支社 名古屋西區花ノ木町二ノ五
 大坂 名古屋 木材新聞支社
 電話局西五三九三番

刊 日

躍進
 日滿支に
 儼然たる存在



- △最近の刊行物▽
- △日滿支工業年鑑 (十四年版)
- △滿支鮮工業名鑑 (大陸進出の好資料)
- △工業統制便覽 (内務省推薦) 解説經濟警察讀本

大坂一西區昭和通・東京一麹町區有樂町

日滿工業新聞社

名古屋支局 名古屋市中區新榮町陸田ビル四階
 岐阜通信部 岐阜市加納町南廣江
 各地支局 大連・奉天・神戸・廣島・福岡・京城・臺北・上海
 外地總局 滿洲 新京市七馬路
 北京 北京城內帽湖兒同
 天津 天津日本租界須磨街至善里

中央飲食料品新聞

|| 大正新經營 ||

本紙は大正三年先代皓三氏の手に創設經營せられ、洋酒食料品、罐詰乾物、海産物、漬物調味料等食料品界全般に亘る權威ある業界紙として二十有餘年の歴史を有す。昭和十年二月先代皓三氏の急逝に逢ひ現大海新一氏一切これを繼承し益々紙面の刷新と充實を圖り本紙の發展を期せられつゝあり。

全國清涼飲料新聞

本紙は夙に中央飲食料品新聞の『清涼飲料料』として發行し母紙と共に二十有餘年の歴史を有し本邦清涼飲料界唯一の權威ある機關紙となり全國清涼飲料業者の切なる懇望によつて昭和九年五月より、『全國清涼飲料新聞』と名稱獨立し昭和九年九月二十九日第三種郵便物の認可を得て國內は固より各種植民地並に南洋諸島に亘つて大なる讀者層を築くに至つた。

發行所

名古屋東區新町九番地

中央飲食料品報社

電話東區二七六二番 振替口座 大阪五五三二番 古屋一七〇〇番

夕刊

尾州新聞



△社長 中村義雄氏 ▽

本紙は大正九年二月の創設になる。爾來十有九年を閱して尾西北最古の輝しき歴史を有し、今や鞏固たる地盤は揺がす、同地方唯一の郷土言論紙たり。社長中村義雄氏はこの間獨立獨歩徒手空拳たゞ意氣と熱を以つて文字通り奮闘し、幾多の困難と波瀾曲折を克服して今日の大成を見る。氏は現に一宮市會議員として市政の重きに參劃し、終始嚴正獨立一意市民大衆の爲め大いに氣を吐き以て衆望を一身に聚めつゝあり。

發行所 夕刊 尾州新聞社

一宮市北岡通四丁目六番地

【電話一八二五番】

刊 月

渡部茂 編輯

△人物評論◇人物傳記▽

人物展望

△財界ゴシップ等、サロンの「話題」

提供の雑誌!

名古屋市東區矢田町九ノ三六

人物展望社

【振替口座名古屋三九一五番】



社長 大河原基成氏

日刊野線新報

わが名古屋株界名に聲高く斯界人の衆望を擔ひ、指導の任に當つてゐる「日刊野線新報」は、今や東西市場を通じて其權威を認められ、斯界の神様とまで謳はれる大河原基成氏が獨力經營其の任に當り、現下時局の證券界に明快なる豫斷を下し、世界經濟の動向と、國際關係の狀態等の分析と見透しを適確に記述、指摘して讀者を克服し、それと共に大河原相場觀測なるものを發行し株界關係者の必須の座右復目すべきものとして期待の中に飛躍してゐる、中京に於て堅實な株式野線紙としては大河原基成氏の敏腕と、社員の敏活なる奮闘によつて、本紙の發展は益々期待されつゝある。

名古屋市東區針屋町三丁目一四
發行所 日刊野線新報社
電話東④一九〇五番
名古屋市東區東本重町三ノ四
發賣所 中外商業社
電話東④五〇八五番

極東

大亞細亞

東洋

中京

經濟

自動車界

中京財界叢志

人民新聞

電報

名古屋雜誌協會

昭和區龜城町五ノ五

東洋經濟 淺野義久

千種區元古井一六三

中京財界散步 高澤乙彦

中區中ノ町三ノ二〇

大亞細亞 前田勇峰

千種區千種本町二

電 華 清水狂二

極 千種區池下町一ノ五六

極 東 佐藤真夫

東區主稅町二ノ一〇

人民新聞 篠田留吉

東區大津町三ノ一一

中京自動車界 龜谷桐男

中央市場新聞

名古屋市東區船付町一丁目
四十三番地

中央市場新聞社

電話東④三一九〇番
振替口座名古屋八三四番

▲市場業界を批判・善導し
◀市場の木鐸▶
を生命とする！



社長 小林玄人氏

本紙は昭和七年七月八日創設、當時經濟界の不況は深刻を極め、國民生活は極度に沈滞してゐた。斯かる際こそ市場の機能發揮の好機で然もその必要が叫ばれ、爲めに市場は熾んに増設せられた、茲に於て國民生活の安定に寄與する市場の社會的重要性に鑑み、一面また市場の統制、機能の昂揚指導誘掖は極めて肝要であつた。

社長小林玄人氏はこゝに着目し市場界を批判し善導する所謂「市場の木鐸」を以て任ずる本紙を興し、爾來七ヶ年氏の燃ゆるが如き正義感と卓越せる手腕は紙上に躍如として市場業界向上に裨益する所頗る多く、今や市場業界に絶對的衆望を聚め本紙の面目愈々揚がる。



社長 多喜村修氏

養鶏雜誌 (月刊)

鶏友

養鶏新聞 (旬刊)

養鶏界ニュース

一部 三錢
一ヶ年 八十錢

一部 三十錢
半ヶ年 十七錢
一ヶ年 七十錢
三圓二十錢

副業養鶏にも専業養鶏にも無くては成らぬ良き相談相手は此の養鶏雜誌と養鶏新聞！

發行所

名古屋市昭和區下構町二ノ一八

鶏友社

電話瑞穂②二四九五番
振替名古屋一九四八番

羽田潔經營

生活線

四年間の苦心の經營が酬ひられ、今や月刊雜誌界に特異な地歩を占めて、モリノと伸びゆく羽田潔氏の勇姿そのまゝの雜誌である。その筆剣、その編輯は他誌の追隨を許さない所だ。

名古屋市東區東水切町四ノ四五

發行所 生活線社

振替名古屋三〇七〇二番

◁ 躍飛たま躍飛 / しき掉に局時 ▷

報情互商



社長
小西喜一氏

時はよし！時局の波に乗り股盛を極めつゝある工業界に大なる勢力を扶植し、内容愈々精彩を加ふ。我中京雑誌界に嚴然と頭角を現はし、今や内容の豊富充實せること優に帝都斯界雑誌と比肩して遜色なきに至る。今日この大成の陰には社長小西喜一氏の卓越せる手腕と終始一貫堅實なる經營方針が相俟つてこの成果を収めたのである。

發行所 工商情報社

名古屋西區天神山二丁目五十五番地

電話西區三三三二番

一一三

浴場新聞



名古屋市中區三輪町七三
浴場新聞社
電話中區③八五二番
振替名古屋一五四九六番
社長 前田健太郎

本紙は大正十五年六月十五日創刊、當時名古屋浴場新聞と題し、主として名古屋市内浴場業者に頒布し居たりしが、社長前田健太郎氏の眞摯熱誠なる努力は忽ちにして一般業界の認むる處となり、昭和二年六月名古屋浴場組合聯合會の公認機關紙となり愈々信望を博し愛知全縣下は勿論、漸次他府縣に進出、同年十月十五日浴場新聞と改題し、同年同月京都浴場組合聯合會の公認機關紙ともなり、爾來全國的雄飛を試み順次大阪神戸に及び更に引返して、三重岐阜の近縣より静岡、長野、富山、新潟の諸縣下を風靡し、金澤を経て東京に手を伸し、今や全國に亘り北は樺太の僻地より南は九州の涯まで更に又鮮滿の屬地にまで擴張全國同業紙十四種中斷然頭角を顯はし従つて月々發行する部數も同業紙中群を抜くの盛觀を呈しその急速なる進歩發展は實に目まぐるしきものあり、全國同業者間に一大驚異を投げ羨望の的となつてゐる。

一一三

(刊 日)

帝國菓子館新聞

本紙は明治四十四年七月今枝庄一郎氏が之を創始せらる。爾來十有八年間全國菓子館業界の機關紙として堅實なる經營を見て社礎愈々確立せんとする昭和四年二月今枝氏の急逝に逢ひたるが現社長松本重氏の後繼する處となり益々進展を見るに至り、今や名實共に全國有数の斯業界の權威として信望を博し其發展振り目醒しく、昭和十三年五月斯業界唯一の月刊に飛躍し一般の活目に價するものあり。

地番三卅目丁一町園上區西市屋古名

社聞新館子菓國帝 所行發

番〇九六三②本話電

重 本 松 長 社

一三四

東海經濟

東海經濟は大正十五年十一月日曜東海經濟と題し創刊、昭和三年三月日曜夕刊を創る、社長黒田教治氏の獨力經營に成り更に昭和九年七月五日日刊を以て火災通信を併替中京火保界に嚴然たる地盤を占むるに至つた。

火災通信

郎 治 教 田 黒 長 社

〇一ノ四町早千區中市屋古名 所行發
【番四四一③中話電】
番〇六八一三屋古名替振

一 主宰 牧岡彦太郎

躍進時代

本誌は、眞面目と努力家として知られる牧岡彦太郎君の主宰するもので同君のその人格が買はれて、凡ゆる方面に讀者をもつてゐる。
又本誌の「株界觀測」欄は從來一般の株界觀測とは全然異つた角度からする觀測で、此の欄の讀者には、讀者と云ふよりも信者と云ひたい程の信用を博してゐる。

四ノ一町澤古區中市屋古名

社 版 出 海 東

番九二二三⑥南話電
番二二三一四屋古名替振

一二五

商工經濟新聞

本紙は昭和八年一月一日の創刊に係る。

商工都市名古屋商工業者の覺醒を圖り以て業界の指針として飛躍しつゝあり、主として蓄音器、ラヂオ器具、眼鏡、時計、貴金屬業者間に廣く頒布せられ斯業界に強固なる地盤を築くに至つた。

名古屋市中區南園町二丁目五十七番

發行所 商工經濟新聞社

電話本局②一六六八番

社長 熱田 福太

主筆 後藤 鐵次郎

◇南三地方唯一の郷土言論紙◇

◇創刊 昭和六年八月二十五日◇

三河報知新聞

◇趣味と實益に資する機關紙◇

◇創刊 昭和十三年六月十日◇

日本副業新聞

△社長 渡邊峰月▽

愛知縣幡豆郡一色町

發行所 三河報知新聞社

電話五十四番



發行所

名古屋市中區南園町二丁目一二番

窯業新聞社

社長

高橋 鏡五郎

【沿革現勢】本誌は大正七年二月十八日の創刊にかゝり今や滿二十周年を迎ふ。趣味と實益を兼ねた業界機關紙として全國十餘の同業紙中他の追従を許さざるものあり、縣下は勿論四國九州より北は北海道、樺太又遠く朝鮮滿洲國に足跡を印せざる所なき迄に進展、社長自ら奮闘克く今日の地盤を擴張せる努力の結晶とも謂ふべく、此種機關紙中稀に見る基礎強固なるものなり。



益々洗煉された中村の洋服



中村呉服店

名古屋・廣小路

愛知縣新聞總觀

定價 金壹圓

昭和八年六月十五月初版發行
昭和九年十一月二十五日第二版發行
昭和十三年十二月十日印刷
昭和十三年十二月十五日發行



名古屋市中區南吳服町四丁目三番地

著作兼發行者 龜谷桐男

名古屋市中區南吳服町二丁目二一

印刷者 高橋通平

名古屋市中區南吳服町二丁目二一

印刷所 高橋成弘社

電話中③ 二〇〇三八番

名古屋市中區南吳服町四丁目三番地

發行所 愛知縣新聞總觀社

電話東④ 一九五七番
振替口座名古屋一九三三三番

名古屋市中區南伊勢町一ノ三

株式會社

名古屋株式取引所

理事長 下出 義雄

常務 後藤 富太郎

理事支配人 荻子 幸之輔

電氣の御用は左記にて承ります

名古屋市増區に伴ひ各出張所を増設しました。精々御利用を御願致します。

中部營業所
昭和區出張所
東部營業所
千種區出張所
西部營業所
中村區出張所
南部營業所
中川區出張所
港區出張所

中部西松枝町一
昭和區廣見町二ノ二
東區前ノ町一
千種區覺王山通四ノ二九
西區奉公人町一
中村區米野町小崎
熱田區熱田神戸町三六
中川區八熊通三ノ一〇
港區眞砂町一ノ一

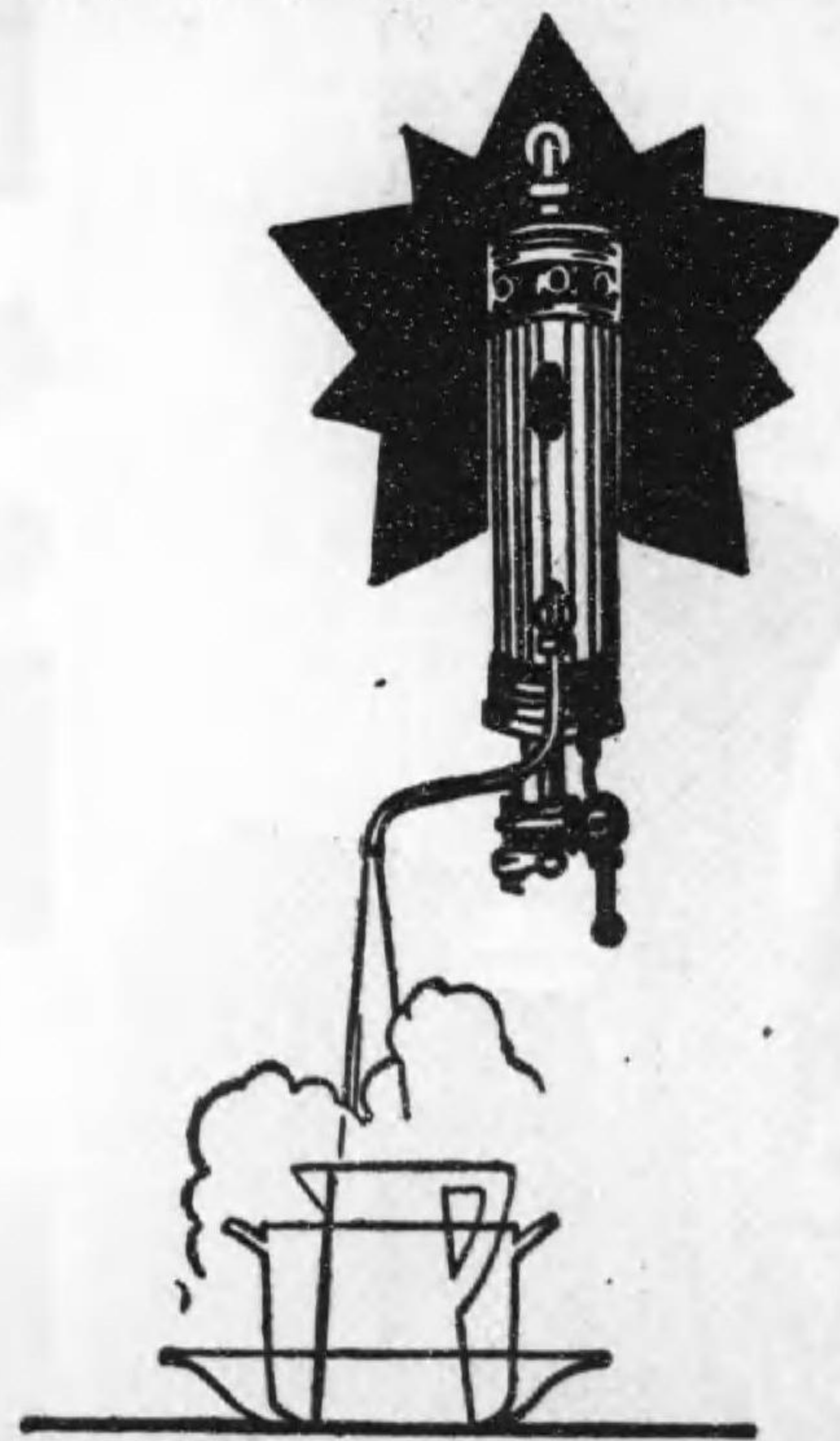
名古屋市中區松ヶ枝町一番地

東邦電力株式會社名古屋支店

電話代表中 ③ 二二一九一 二二一九一 二二一九一 二二一九一

電話中 ③ 二二一九一
電話瑞 ⑦ 一八一五・二四七二
電話東 ④ 八三〇六
電話東 ④ 四〇八九・五二七九
電話西 ⑤ 五七八〇
電話西 ⑤ 二四七八・六二六六
電話南 ⑥ 七四一〇
電話南 ⑥ 六六九一
電話築 ⑦ 五〇一七

瓦斯自働湯沸器



東邦瓦斯株式會社

電中一四一

＝ 貯蓄報國！貯金は拾圓から ＝



資本金 壹千五百萬圓

名古屋市西區御幸本町通

株式會社 愛知銀行

資本金 貳千六拾萬圓

名古屋市 中區榮町

株式會社 名古屋銀行

電話本局② 二二二 二二二 四四一 六六一 番番番

電話本局② 二二三 二二三 〇番番

キリンビール

品質の優良が

キリンの聲價



麒麟麥酒株式會社

△ ハイキング案内 ▽

- 宮路山 五井山尾根縦走 (運賃一、九六 割引一、四〇 徒歩十二軒)
神宮前 赤坂 宮路山 五井山 蒲郡 本宿 神宮前
- 新輕井澤 本宮山越え (運賃三、〇二 徒歩十二軒)
神宮前 本宿 作手 本宮川 長山 豊川 神宮前
- 黒手山からがんどがま 入鹿池 (運賃一、二七 割引〇、九〇 徒歩一三、五軒)
柳橋 愛岐 黒手山 山伏瀧 がんどがま バス乗場 羽黒 上飯田
- 蘇水峽 深澤峽 (運賃二、一五 徒歩十九軒)
柳橋 八百津 鯉居 蘇水峽 深澤峽 本郷 土岐津 名古屋
- 鬼岩温泉 同遊園 土岐津 (運賃二、一五 徒歩十二軒)
柳橋 御嵩 鬼岩温泉 同遊園 土岐津 名古屋
- 知多の南海岸 (運賃二、三八 割引一、六五 徒歩十一軒)
神宮前 河和 師崎 豊濱 内海 野間 武豊 神宮前

バス 徒歩 電車 汽車 汽車 汽車 汽車 汽車

皇軍武運
長久祈願

伊勢參宮は
海路で

神宮前 師崎 二見
片道 一圓七十錢
往復 三圓三十錢

前八時三十五分	神宮前發	二見着
後二時三十三分	神宮前發	二見着
前十一時	神宮前發	二見着
後五時五十分	神宮前發	二見着
後四時四十分	神宮前發	二見着
後五時三十分	神宮前發	二見着

愛知商船

名古屋鐵電車

387
383

終

